

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	1	
授業科目	キャリアデザイン I	
実務家教員授業	授業担当者：株式会社アウトソーシングテクノロジー	
	実務経験及び授業との関連性：企業において採用面接試験を担当する実務家教員が、その実務経験を活かして、就職活動に向けた筆記試験・面接対策などについて講義を行う。	
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義・演習	
授業時間	3 0 時間（1 単位）	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	面接試験において求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	面接の入退室および自己PRができるようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	面接の基本
	2	入退室の仕方
	3	スーツの着こなし、身嗜み確認
	4	自己PR作成①
	5	自己PR作成②
	6	自己PR作成③
	7	面接質問項目①
	8	面接質問項目②
	9	面接質問項目③
	10	会計事務所・企業研究①
	11	会計事務所・企業研究②
	12	模擬面接練習①
	13	模擬面接練習②
	14	模擬面接練習③
	15	模擬面接試験
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	2	
授業科目	一般教養 I	
実務家教員授業	—	
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	通年	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	3 0 時間（1 単位）	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	一般教養として社会で求められる漢字能力を身に付けることを目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	訓読み・送り仮名①
	2	訓読み・送り仮名②
	3	熟語①
	4	熟語②
	5	熟語③
	6	異字同訓・同音異義
	7	誤字訂正①
	8	誤字訂正②・類義語
	9	反対語
	10	漢字の意味・使い方①
	11	漢字の意味・使い方②
	12	項目別模擬試験①
	13	項目別模擬試験②
	14	直前模擬試験①
	15	直前模擬試験②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	3	
授業科目	簿記入門 I	
実務家教員授業	—	
	内 容	
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択必修	
授業方法	講義	
授業時間	3 0 時間（1 単位）	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	株式会社における複式簿記の基本原理を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記の基本原理の理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	簿記の目的（基礎編）
	2	簿記一巡（基礎編）
	3	商品売買Ⅰ（基礎編）
	4	商品売買Ⅱ（基礎編）
	5	決算整理（基礎編）
	6	精算表（基礎編）
	7	現金および預金（基礎編）
	8	手形（基礎編）
	9	有形固定資産の決算整理（基礎編）
	10	その他の債権および債務（基礎編）
	11	その他の勘定および訂正仕訳（基礎編）
	12	有形固定資産の決算整理（基礎編）
	13	費用および収益の決算整理（基礎編）
	14	株式会社の純資産（基礎編）
	15	英米式決算法（基礎編）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容		
科目番号	4		
授業科目	3級商業簿記基礎		
実務家教員授業	—		
学部・学科	ビジネス学科		
履修年次	1 年次		
開講学期	前期		
科目区分	選択必修		
授業方法	講義		
授業時間	9 0 時間（3 単位）		
授業コマ数	4 5 コマ		
授業概要	株式会社における複式簿記の基本原則、簿記の基本原則を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	株式会社を前提とした一般的な企業取引に対する会計処理、企業取引に対する会計処理、報告書類の理解を目的とする		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	簿記の目的	31 仕入帳・売上帳
	2	簿記一巡	32 商品有高帳
	3	株式会社の資本	33 手形記入帳
	4	商品売買Ⅰ（商品売買、3分法）	34 試算表の作成
	5	商品売買Ⅱ（返品、分記法）	35 伝票会計①
	6	商品売買Ⅲ（仕入諸掛・販売諸掛）	36 伝票会計②
	7	決算①（繰越商品の決算整理）	37 確認テスト（第3回）
	8	決算②（決算整理後残高試算表）	38 商業簿記総まとめ②
	9	決算③（精算表）	39 商業簿記総まとめ③
	10	現金および預金Ⅰ（現金預金等）	40 商業簿記総まとめ④
	11	現金および預金Ⅱ（複数口座の管理）	41 商業簿記総まとめ⑤
	12	手形および電子記録債権・債務	42 商業簿記総まとめ⑥
	13	確認テスト（第1回）	43 商業簿記総まとめ⑦
	14	商業簿記総まとめ①	44 商業簿記総まとめ⑧
	15	決算④（売上債権の決算整理）	45 商業簿記総まとめ⑨
	16	有形固定資産	
	17	決算⑤（有形固定資産の決算整理）	
	18	その他の債権および債務Ⅰ	
	19	その他の債権および債務Ⅱ	
	20	その他の債権および債務Ⅲ	
	21	その他の収益および費用	
	22	決算⑥（費用および収益の決算整理）	
	23	税金	
	24	決算⑦（その他の決算整理）	
	25	その他の勘定および訂正仕訳	
	26	損益計算書および貸借対照表Ⅰ	
	27	損益計算書および貸借対照表Ⅱ	
	28	確認テスト（第2回）	
	29	主要簿と補助簿	
	30	現金出納帳および当座預金出納帳	
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	5	
授業科目	3級簿記総合	
実務家教員授業	—	
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択必修	
授業方法	演習	
授業時間	1 2 0 時間（4 単位）	
授業コマ数	6 0 コマ	
授業概要	基礎レベルではやや難しい会計処理を問題演習を通じて学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記3級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 商業簿記総まとめ①（基礎編） 2 商業簿記総まとめ②（基礎編） 3 商業簿記総まとめ③（基礎編） 4 商業簿記総まとめ④（基礎編） 5 商業簿記総まとめ⑤（基礎編） 6 商業簿記総まとめ⑥（基礎編） 7 商業簿記総まとめ⑦（基礎編） 8 商業簿記総まとめ⑧（基礎編） 9 商業簿記総まとめ⑨（基礎編） 10 商業簿記総まとめ⑩（基礎編） 11 商業簿記総まとめ⑪（基礎編） 12 商業簿記総まとめ⑫（基礎編） 13 商業簿記総まとめ⑬（基礎編） 14 商業簿記総まとめ⑭（基礎編） 15 商業簿記総まとめ⑮（基礎編） 16 商業簿記総まとめ①（応用編） 17 商業簿記総まとめ②（応用編） 18 商業簿記総まとめ③（応用編） 19 商業簿記総まとめ④（応用編） 20 商業簿記総まとめ⑤（応用編） 21 商業簿記総まとめ⑥（応用編） 22 商業簿記総まとめ⑦（応用編） 23 商業簿記総まとめ⑧（応用編） 24 商業簿記総まとめ⑨（応用編） 25 商業簿記総まとめ⑩（応用編） 26 商業簿記総まとめ⑪（応用編） 27 商業簿記総まとめ⑫（応用編） 28 商業簿記総まとめ⑬（応用編） 29 商業簿記総まとめ⑭（応用編） 30 商業簿記総まとめ⑮（応用編）	31 総合問題対策① 32 総合問題対策② 33 総合問題対策③ 34 総合問題対策④ 35 総合問題対策⑤ 36 総合問題対策⑥ 37 総合問題対策⑦ 38 総合問題対策⑧ 39 総合問題対策⑨ 40 総合問題対策⑩ 41 総合問題対策⑪ 42 総合問題対策⑫ 43 総合問題対策⑬ 44 総合問題対策⑭ 45 総合問題対策⑮ 46 総合問題演習① 47 総合問題演習② 48 総合問題演習③ 49 総合問題演習④ 50 総合問題演習⑤ 51 総合問題演習⑥ 52 総合問題演習⑦ 53 総合問題演習⑧ 54 総合問題演習⑨ 55 総合問題演習⑩ 56 総合問題演習⑪ 57 総合問題演習⑫ 58 総合問題演習⑬ 59 総合問題演習⑭ 60 総合問題演習⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容			
科目番号	6			
授業科目	2級商業簿記基礎Ⅰ			
実務家教員授業	—			
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	1 年次			
開講学期	前期			
科目区分	選択必須			
授業方法	講義			
授業時間	9 0 時間 （3 単位）			
授業コマ数	4 5 コマ			
授業概要	基本的な財務報告書類の作成方法・株式会社会計の基礎を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	決算整理を中心とした会計処理、勘定形式の報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	総論（基礎編）	31	株主資本等変動計算書①（基礎編）
	2	収益と費用①（基礎編）	32	株主資本等変動計算書②（基礎編）
	3	収益と費用②（基礎編）	33	株主資本等変動計算書③（基礎編）
	4	棚卸資産①（基礎編）	34	連結会計①（基礎編）
	5	棚卸資産②（基礎編）	35	連結会計②（基礎編）
	6	現金預金（基礎編）	36	連結会計③（基礎編）
	7	債権・債務等①（基礎編）	37	連結会計④（基礎編）
	8	債権・債務等②（基礎編）	38	連結会計⑤（基礎編）
	9	有価証券①（基礎編）	39	連結会計⑥（基礎編）
	10	有価証券②（基礎編）	40	連結会計⑦（基礎編）
	11	有価証券③（基礎編）	41	連結会計⑧（基礎編）
	12	固定資産①（基礎編）	42	本支店会計①（基礎編）
	13	固定資産②（基礎編）	43	本支店会計②（基礎編）
	14	固定資産③（基礎編）	44	本支店会計③（基礎編）
	15	固定資産④（基礎編）	45	伝票と帳簿（基礎編）
	16	固定資産⑤（基礎編）		
	17	固定資産⑥（基礎編）		
	18	為替換算会計①（基礎編）		
	19	為替換算会計②（基礎編）		
	20	引当金①（基礎編）		
	21	引当金②（基礎編）		
	22	法人税等①（基礎編）		
	23	法人税等②（基礎編）		
	24	法人税等③（基礎編）		
	25	法人税等④（基礎編）		
	26	株式会社の純資産①（基礎編）		
	27	株式会社の純資産②（基礎編）		
	28	企業結合①（基礎編）		
	29	企業結合②（基礎編）		
	30	確認テスト		
	成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100％ 基礎的な解答力を測定する試験		
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
科目番号	7
授業科目	2級工業簿記基礎Ⅰ
実務家教員授業	—
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	60時間（2単位）
授業コマ数	30コマ
授業概要	工企業を前提とする会計処理の基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	伝統的な個別原価計算および総合原価計算を学び、一部、原価計算の基礎についても習熟することを目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	- 工業簿記の基礎（基礎編） - 個別原価計算の手続き（基礎編） - 材料費会計（基礎編） - 労務費会計（基礎編） - 経費会計（基礎編） - 製造間接費会計（基礎編） - 製造間接費差異の原因別分析（基礎編） - 単純個別原価計算Ⅰ（基礎編） - 単純個別原価計算Ⅱ（基礎編） - 工企業の財務諸表（基礎編） - 工業簿記総まとめ①（基礎編） - 部門別計算Ⅰ（基礎編） - 部門別計算Ⅱ（基礎編） - 確認テスト（第1回） - 工業簿記総まとめ②（基礎編） - 総合原価計算の手続き（基礎編） - 単純総合原価計算（基礎編） - 減損および仕損（基礎編） - 工程別総合原価計算（基礎編） - 組別総合原価計算（基礎編） - 等級別総合原価計算（基礎編） - 標準原価計算Ⅰ（基礎編） - 標準原価計算Ⅱ（基礎編） - 標準原価計算Ⅲ（基礎編） - 工業簿記総まとめ③（基礎編） - CVP分析Ⅰ（基礎編） - CVP分析Ⅱ（基礎編） - 直接原価計算（基礎編） - 工業簿記総まとめ④（基礎編） - 確認テスト（第2回）
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容			
科目番号	8			
授業科目	2級簿記総合 I			
実務家教員授業	—			
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	1 年次			
開講学期	前期			
科目区分	選択必修			
授業方法	演習			
授業時間	1 2 0 時間 （4 単位）			
授業コマ数	6 0 コマ			
授業概要	商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学び、本支店会計、連結会計、原価計算の基礎も学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	簿記2級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	商業簿記総まとめ①（基礎編）	31	工業簿記総まとめ⑪（基礎編）
	2	商業簿記総まとめ②（基礎編）	32	工業簿記総まとめ⑫（基礎編）
	3	商業簿記総まとめ③（基礎編）	33	工業簿記総まとめ⑬（基礎編）
	4	商業簿記総まとめ④（基礎編）	34	工業簿記総まとめ⑭（基礎編）
	5	商業簿記総まとめ⑤（基礎編）	35	工業簿記総まとめ⑮（基礎編）
	6	商業簿記総まとめ⑥（基礎編）	36	工業簿記総まとめ⑯（基礎編）
	7	商業簿記総まとめ⑦（基礎編）	37	工業簿記総まとめ⑰（基礎編）
	8	商業簿記総まとめ⑧（基礎編）	38	工業簿記総まとめ⑱（基礎編）
	9	商業簿記総まとめ⑨（基礎編）	39	工業簿記総まとめ⑲（基礎編）
	10	商業簿記総まとめ⑩（基礎編）	40	工業簿記総まとめ⑳（基礎編）
	11	商業簿記総まとめ⑪（基礎編）	41	総合問題演習①（テスト形式）
	12	商業簿記総まとめ⑫（基礎編）	42	総合問題演習②（テスト形式）
	13	商業簿記総まとめ⑬（基礎編）	43	総合問題演習③（テスト形式）
	14	商業簿記総まとめ⑭（基礎編）	44	総合問題演習④（テスト形式）
	15	商業簿記総まとめ⑮（基礎編）	45	総合問題演習⑤（テスト形式）
	16	商業簿記総まとめ⑯（基礎編）	46	総合問題演習⑥（テスト形式）
	17	商業簿記総まとめ⑰（基礎編）	47	総合問題演習⑦（テスト形式）
	18	商業簿記総まとめ⑱（基礎編）	48	総合問題演習⑧（テスト形式）
	19	商業簿記総まとめ⑲（基礎編）	49	総合問題演習⑨（テスト形式）
	20	商業簿記総まとめ⑳（基礎編）	50	総合問題演習⑩（テスト形式）
	21	工業簿記総まとめ①（基礎編）	51	総合問題演習⑪（テスト形式）
	22	工業簿記総まとめ②（基礎編）	52	総合問題演習⑫（テスト形式）
	23	工業簿記総まとめ③（基礎編）	53	総合問題演習⑬（テスト形式）
	24	工業簿記総まとめ④（基礎編）	54	総合問題演習⑭（テスト形式）
	25	工業簿記総まとめ⑤（基礎編）	55	総合問題演習⑮（テスト形式）
	26	工業簿記総まとめ⑥（基礎編）	56	総合問題演習⑯（テスト形式）
	27	工業簿記総まとめ⑦（基礎編）	57	総合問題演習⑰（テスト形式）
	28	工業簿記総まとめ⑧（基礎編）	58	総合問題演習⑱（テスト形式）
	29	工業簿記総まとめ⑨（基礎編）	59	総合問題演習⑲（テスト形式）
	30	工業簿記総まとめ⑩（基礎編）	60	総合問題演習⑳（テスト形式）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100％ 基礎的な解答力を測定する試験			
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容			
科目番号	9			
授業科目	2級商業簿記基礎Ⅱ			
実務家教員授業	—			
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	1 年次			
開講学期	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
授業時間	9 0 時間（3 単位）			
授業コマ数	4 5 コマ			
授業概要	試算表、精算表、財務報告書など他の会計書類の関連性について体系的に学び、財務報告書類の作成方法・株式会社会計を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	商企業を前提とした、伝票会計、帳簿組織などの記帳技術を習得しつつ、報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	総論①（基礎編）	31	株式会社の純資産①（基礎編）
	2	総論②（基礎編）	32	株式会社の純資産②（基礎編）
	3	収益と費用（基礎編）	33	株式会社の純資産③（基礎編）
	4	棚卸資産①（基礎編）	34	企業結合（基礎編）
	5	棚卸資産②（基礎編）	35	株主資本等変動計算書①（基礎編）
	6	棚卸資産③（基礎編）	36	株主資本等変動計算書②（基礎編）
	7	現金預金①（基礎編）	37	連結会計①（基礎編）
	8	現金預金②（基礎編）	38	連結会計②（基礎編）
	9	債権・債務等（基礎編）	39	連結会計③（基礎編）
	10	有価証券①（基礎編）	40	連結会計④（基礎編）
	11	有価証券②（基礎編）	41	連結会計⑤（基礎編）
	12	有価証券③（基礎編）	42	連結会計⑥（基礎編）
	13	有価証券④（基礎編）	43	連結会計⑦（基礎編）
	14	有価証券⑤（基礎編）	44	連結会計⑧（基礎編）
	15	有価証券⑥（基礎編）	45	連結会計⑨（基礎編）
	16	固定資産①（基礎編）		
	17	固定資産②（基礎編）		
	18	固定資産③（基礎編）		
	19	固定資産④（基礎編）		
	20	固定資産⑤（基礎編）		
	21	固定資産⑥（基礎編）		
	22	為替換算会計①（基礎編）		
	23	為替換算会計②（基礎編）		
	24	為替換算会計③（基礎編）		
	25	引当金①（基礎編）		
	26	引当金②（基礎編）		
	27	引当金③（基礎編）		
	28	法人税等①（基礎編）		
	29	法人税等②（基礎編）		
	30	法人税等③（基礎編）		
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験			
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容			
科目番号	10			
授業科目	2級工業簿記基礎Ⅱ			
実務家教員授業	—			
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	1 年次			
開講学期	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
授業時間	9 0 時間（3 単位）			
授業コマ数	4 5 コマ			
授業概要	工業簿記および原価計算の関係および会計処理を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	工企業の原価計算手法である個別原価計算および総合原価計算を学び、かつ、原価計算に関する知識習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	工業簿記の基礎	31	標準原価計算①
	2	工業簿記の記帳体系①	32	標準原価計算②
	3	材料費会計①	33	標準原価計算③
	4	材料費会計②	34	原価・営業量・利益関係の分析①
	5	労務費会計①	35	原価・営業量・利益関係の分析②
	6	労務費会計②	36	工場会計の独立
	7	経費会計	37	直接原価計算①
	8	製造間接費会計①	38	直接原価計算②
	9	製造間接費会計②	39	確認テスト（第2回）
	10	単純個別原価計算①	40	工業簿記総まとめ①
	11	単純個別原価計算②	41	工業簿記総まとめ②
	12	単純個別原価計算③	42	工業簿記総まとめ③
	13	部門別計算①	43	工業簿記総まとめ④
	14	部門別計算②	44	工業簿記総まとめ⑤
	15	部門別計算③	45	工業簿記総まとめ⑥
	16	確認テスト（第1回）		
	17	工企業の財務諸表①		
	18	工企業の財務諸表②		
	19	工業簿記の記帳体系②		
	20	総合原価計算①		
	21	総合原価計算②		
	22	総合原価計算③		
	23	総合原価計算④		
	24	総合原価計算⑤		
	25	総合原価計算⑥		
	26	工程別総合原価計算①		
	27	工程別総合原価計算②		
	28	組別総合原価計算		
	29	等級別総合原価計算①		
	30	等級別総合原価計算②		
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験			
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	11	
授業科目	2級商業簿記応用 I	
実務家教員授業	—	
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	3 0 時間（1 単位）	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	商企業の会計処理に関する全体の関連性について体系的に学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	日々の取引、決算整理に関する一連の流れおよび財務諸表の作成について、上場企業レベルの資料を作成することができることを目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	本支店会計①（応用編）
	2	本支店会計②（応用編）
	3	本支店会計③（応用編）
	4	製造業を営む会社の決算処理①（応用編）
	5	製造業を営む会社の決算処理②（応用編）
	6	製造業を営む会社の決算処理③（応用編）
	7	伝票①（応用編）
	8	伝票②（応用編）
	9	伝票③（応用編）
	10	商業簿記総まとめ①
	11	商業簿記総まとめ②
	12	商業簿記総まとめ③
	13	商業簿記総まとめ④
	14	商業簿記総まとめ⑤
	15	商業簿記総まとめ⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	12	
授業科目	2級工業簿記応用 I	
実務家教員授業	—	
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	3 0 時間（1 単位）	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	工業簿記および原価計算の関係および会計処理を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	工企業の原価計算手法である個別原価計算および総合原価計算を学び、かつ、原価計算に関する知識習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	費目別計算①（応用編）
	2	費目別計算②（応用編）
	3	単純個別原価計算①（応用編）
	4	単純個別原価計算②（応用編）
	5	部門別計算①（応用編）
	6	部門別計算②（応用編）
	7	工企業の財務諸表（応用編）
	8	単純総合原価計算①（応用編）
	9	単純総合原価計算②（応用編）
	10	工程別総合原価計算（応用編）
	11	組別総合原価計算、等級別総合原価計算（応用編）
	12	標準原価計算①（応用編）
	13	標準原価計算②（応用編）
	14	原価・営業量・利益関係の分析（応用編）
	15	直接原価計算（応用編）
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容		
科目番号	13		
授業科目	2級簿記総合Ⅱ		
実務家教員授業	—		
学部・学科	ビジネス学科		
履修年次	1 年次		
開講学期	通年		
科目区分	選択		
授業方法	演習		
授業時間	9 0 時間（3 単位）		
授業コマ数	4 5 コマ		
授業概要	商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学習し、総合問題の基礎も学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	簿記2級の基礎的な会計知識と計算技術の習得を目的とする		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	商業簿記総まとめ①（中級編）	31 総合問題演習②（テスト形式）
	2	商業簿記総まとめ②（中級編）	32 総合問題演習②（テスト形式）
	3	商業簿記総まとめ③（中級編）	33 総合問題演習②（テスト形式）
	4	商業簿記総まとめ④（中級編）	34 総合問題演習③（テスト形式）
	5	商業簿記総まとめ⑤（中級編）	35 総合問題演習③（テスト形式）
	6	商業簿記総まとめ⑥（中級編）	36 総合問題演習③（テスト形式）
	7	商業簿記総まとめ⑦（中級編）	37 総合問題演習④（テスト形式）
	8	商業簿記総まとめ⑧（中級編）	38 総合問題演習④（テスト形式）
	9	商業簿記総まとめ⑨（中級編）	39 総合問題演習④（テスト形式）
	10	商業簿記総まとめ⑩（中級編）	40 総合問題演習⑤（テスト形式）
	11	商業簿記総まとめ⑪（中級編）	41 総合問題演習⑤（テスト形式）
	12	商業簿記総まとめ⑫（中級編）	42 総合問題演習⑤（テスト形式）
	13	商業簿記総まとめ⑬（中級編）	43 総合問題演習⑥（テスト形式）
	14	商業簿記総まとめ⑭（中級編）	44 総合問題演習⑥（テスト形式）
	15	商業簿記総まとめ⑮（中級編）	45 総合問題演習⑥（テスト形式）
	16	工業簿記総まとめ①（中級編）	
	17	工業簿記総まとめ②（中級編）	
	18	工業簿記総まとめ③（中級編）	
	19	工業簿記総まとめ④（中級編）	
	20	工業簿記総まとめ⑤（中級編）	
	21	工業簿記総まとめ⑥（中級編）	
	22	工業簿記総まとめ⑦（中級編）	
	23	工業簿記総まとめ⑧（中級編）	
	24	工業簿記総まとめ⑨（中級編）	
	25	工業簿記総まとめ⑩（中級編）	
	26	工業簿記総まとめ⑪（中級編）	
	27	工業簿記総まとめ⑫（中級編）	
	28	総合問題演習①（テスト形式）	
	29	総合問題演習①（テスト形式）	
	30	総合問題演習①（テスト形式）	
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験		
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容		
科目番号	14		
授業科目	2級簿記総合Ⅲ		
実務家教員授業	—		
学部・学科	ビジネス学科		
履修年次	1 年次		
開講学期	通年		
科目区分	選択		
授業方法	演習		
授業時間	9 0 時間（3 単位）		
授業コマ数	4 5 コマ		
授業概要	株式会社の会計処理を問題演習、総合問題の演習を通じて学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	簿記2級の応用的な会計知識と計算技術の習得を目的とし、かつ、有価証券報告書を読み取ることができることを目的とする		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	商業簿記総まとめ①（応用編）	31 総合問題演習②（テスト形式）
	2	商業簿記総まとめ②（応用編）	32 総合問題演習②（テスト形式）
	3	商業簿記総まとめ③（応用編）	33 総合問題演習②（テスト形式）
	4	商業簿記総まとめ④（応用編）	34 総合問題演習③（テスト形式）
	5	商業簿記総まとめ⑤（応用編）	35 総合問題演習③（テスト形式）
	6	商業簿記総まとめ⑥（応用編）	36 総合問題演習③（テスト形式）
	7	商業簿記総まとめ⑦（応用編）	37 総合問題演習④（テスト形式）
	8	商業簿記総まとめ⑧（応用編）	38 総合問題演習④（テスト形式）
	9	商業簿記総まとめ⑨（応用編）	39 総合問題演習④（テスト形式）
	10	商業簿記総まとめ⑩（応用編）	40 総合問題演習⑤（テスト形式）
	11	商業簿記総まとめ⑪（応用編）	41 総合問題演習⑤（テスト形式）
	12	商業簿記総まとめ⑫（応用編）	42 総合問題演習⑤（テスト形式）
	13	商業簿記総まとめ⑬（応用編）	43 総合問題演習⑥（テスト形式）
	14	商業簿記総まとめ⑭（応用編）	44 総合問題演習⑥（テスト形式）
	15	商業簿記総まとめ⑮（応用編）	45 総合問題演習⑥（テスト形式）
	16	工業簿記総まとめ①（応用編）	
	17	工業簿記総まとめ②（応用編）	
	18	工業簿記総まとめ③（応用編）	
	19	工業簿記総まとめ④（応用編）	
	20	工業簿記総まとめ⑤（応用編）	
	21	工業簿記総まとめ⑥（応用編）	
	22	工業簿記総まとめ⑦（応用編）	
	23	工業簿記総まとめ⑧（応用編）	
	24	工業簿記総まとめ⑨（応用編）	
	25	工業簿記総まとめ⑩（応用編）	
	26	工業簿記総まとめ⑪（応用編）	
	27	工業簿記総まとめ⑫（応用編）	
	28	総合問題演習①（テスト形式）	
	29	総合問題演習①（テスト形式）	
	30	総合問題演習①（テスト形式）	
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験		
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容			
科目番号	15			
授業科目	1級会計学入門Ⅰ			
実務家教員授業	—			
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	1 年次			
開講学期	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
授業時間	9 0 時間（3 単位）			
授業コマ数	4 5 コマ			
授業概要	資産負債中心観を主体とした理論体系を学び現行基準との整合性、課題を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	現行基準の理論体系の理解を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	財務諸表（入門編）	31	商品売買等①（入門編）
	2	有価証券（入門編）	32	商品売買等②（入門編）
	3	デリバティブ取引（入門編）	33	商品売買等③（入門編）
	4	有形固定資産①（入門編）	34	本支店会計①（入門編）
	5	有形固定資産②（入門編）	35	本支店会計②（入門編）
	6	割引現在価値（入門編）	36	本支店会計③（入門編）
	7	リース取引①（入門編）	37	連結財務諸表総論①（入門編）
	8	リース取引②（入門編）	38	連結財務諸表総論②（入門編）
	9	研究開発費とソフトウェア（入門編）	39	資本連結①（入門編）
	10	固定資産の減損①（入門編）	40	資本連結②（入門編）
	11	固定資産の減損②（入門編）	41	資本連結③（入門編）
	12	繰延資産（入門編）	42	資本連結④（入門編）
	13	社債（入門編）	43	成果連結①（入門編）
	14	貸倒引当金（入門編）	44	成果連結②（入門編）
	15	退職給付①（入門編）	45	成果連結③（入門編）
	16	退職給付②（入門編）		
	17	資産除去債務①（入門編）		
	18	資産除去債務②（入門編）		
	19	純資産①（入門編）		
	20	純資産②（入門編）		
	21	純資産③（入門編）		
	22	新株予約権（入門編）		
	23	ストック・オプション①（入門編）		
	24	ストック・オプション②（入門編）		
	25	税効果会計①（入門編）		
	26	税効果会計②（入門編）		
	27	税効果会計③（入門編）		
	28	外貨建取引①（入門編）		
	29	外貨建取引②（入門編）		
	30	外貨建取引③（入門編）		
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験			
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容		
科目番号	16		
授業科目	1級原価計算入門Ⅰ		
実務家教員授業	—		
学部・学科	ビジネス学科		
履修年次	1 年次		
開講学期	前期		
科目区分	選択		
授業方法	講義		
授業時間	9 0 時間（3 単位）		
授業コマ数	4 5 コマ		
授業概要	伝統的な工業簿記および原価計算の基本的な内容を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	工企業を前提とする会計処理の習得を目的とする		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1 工業簿記と原価計算（入門編） 2 費目別計算①（入門編） 3 費目別計算②（入門編） 4 部門別計算①（入門編） 5 部門別計算②（入門編） 6 部門別計算③（入門編） 7 部門別計算④（入門編） 8 部門別計算⑤（入門編） 9 部門別計算⑥（入門編） 10 個別原価計算①（入門編） 11 個別原価計算②（入門編） 12 個別原価計算③（入門編） 13 総合原価計算④（入門編） 14 総合原価計算⑤（入門編） 15 総合原価計算⑥（入門編） 16 総合原価計算⑦（入門編） 17 総合原価計算⑧（入門編） 18 標準原価計算①（入門編） 19 標準原価計算②（入門編） 20 標準原価計算③（入門編） 21 標準原価計算④（入門編） 22 標準原価計算⑤（入門編） 23 直接原価計算（入門編） 24 短期利益計画①（入門編） 25 短期利益計画②（入門編） 26 短期利益計画③（入門編） 27 予算管理①（入門編） 28 予算管理②（入門編） 29 予算管理③（入門編） 30 業務的意思決定①（入門編）	31 業務的意思決定②（入門編） 32 業務的意思決定③（入門編） 33 業務的意思決定④（入門編） 34 業務的意思決定⑤（入門編） 35 業務的意思決定⑥（入門編） 36 構造的意意思決定①（入門編） 37 構造的意意思決定②（入門編） 38 構造的意意思決定③（入門編） 39 構造的意意思決定④（入門編） 40 構造的意意思決定⑤（入門編） 41 構造的意意思決定⑥（入門編） 42 戦略的原価計算①（入門編） 43 戦略的原価計算②（入門編） 44 戦略的原価計算③（入門編） 45 戦略的原価計算④（入門編）	
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験		
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	17	
授業科目	1級会計学基礎 I	
実務家教員授業	—	
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	3 0 時間（1 単位）	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計の基礎について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	会計知識の習得および計算技術を身に付けることを目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	持分法①（基礎編）
	2	持分法②（基礎編）
	3	連結税効果①（基礎編）
	4	連結税効果②（基礎編）
	5	包括利益（基礎編）
	6	在外子会社（基礎編）
	7	企業結合①（基礎編）
	8	企業結合②（基礎編）
	9	事業分離①（基礎編）
	10	事業分離②（基礎編）
	11	キャッシュフロー計算書①（基礎編）
	12	キャッシュフロー計算書②（基礎編）
	13	連結キャッシュフロー計算書①（基礎編）
	14	連結キャッシュフロー計算書②（基礎編）
	15	会計上の変更及び誤謬の訂正（基礎編）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	18	
授業科目	1級原価計算基礎 I	
実務家教員授業	—	
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	3 0 時間（1 単位）	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	伝統的な工業簿記および原価計算の基礎および経営戦略の基本的な内容を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	最新の原価管理理論の基礎の習得および計算技術の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 個別原価計算（基礎編） 2 部門別計算（基礎編） 3 総合原価計算①（基礎編） 4 総合原価計算②（基礎編） 5 標準原価計算①（基礎編） 6 標準原価計算②（基礎編） 7 標準原価計算③（基礎編） 8 予算管理（基礎編） 9 業務的意思決定①（基礎編） 10 業務的意思決定②（基礎編） 11 構造的意意思決定①（基礎編） 12 構造的意意思決定②（基礎編） 13 戦略的原価計算（基礎編） 14 事業部制①（基礎編） 15 事業部制②（基礎編）	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	19	
授業科目	1級会計学総合 I	
実務家教員授業	—	
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	9 0 時間（3 単位）	
授業コマ数	4 5 コマ	
授業概要	会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計について、より詳細に学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記1級検定合格程度の会計知識および計算技術の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 商業簿記・会計学総まとめ① 2 商業簿記・会計学総まとめ② 3 商業簿記・会計学総まとめ③ 4 商業簿記・会計学総まとめ④ 5 商業簿記・会計学総まとめ⑤ 6 商業簿記・会計学総まとめ⑥ 7 商業簿記・会計学総まとめ⑦ 8 商業簿記・会計学総まとめ⑧ 9 商業簿記・会計学総まとめ⑨ 10 商業簿記・会計学総まとめ⑩ 11 商業簿記・会計学総まとめ⑪ 12 商業簿記・会計学総まとめ⑫ 13 商業簿記・会計学総まとめ⑬ 14 商業簿記・会計学総まとめ⑭ 15 商業簿記・会計学総まとめ⑮ 16 商業簿記・会計学総まとめ⑯ 17 商業簿記・会計学総まとめ⑰ 18 商業簿記・会計学総まとめ⑱ 19 商業簿記・会計学総まとめ⑲ 20 商業簿記・会計学総まとめ⑳ 21 商業簿記・会計学総まとめ㉑ 22 商業簿記・会計学総まとめ㉒ 23 商業簿記・会計学総まとめ㉓ 24 商業簿記・会計学総まとめ㉔ 25 商業簿記・会計学総まとめ㉕ 26 総合問題対策①（テスト形式） 27 総合問題対策②（テスト形式） 28 総合問題対策③（テスト形式） 29 総合問題対策④（テスト形式） 30 総合問題対策⑤（テスト形式）	31 総合問題対策⑥（テスト形式） 32 総合問題対策⑦（テスト形式） 33 総合問題対策⑧（テスト形式） 34 総合問題対策⑨（テスト形式） 35 総合問題対策⑩（テスト形式） 36 総合問題対策⑪（テスト形式） 37 総合問題対策⑫（テスト形式） 38 総合問題対策⑬（テスト形式） 39 総合問題対策⑭（テスト形式） 40 総合問題対策⑮（テスト形式） 41 総合問題対策⑯（テスト形式） 42 総合問題対策⑰（テスト形式） 43 総合問題対策⑱（テスト形式） 44 総合問題対策⑲（テスト形式） 45 総合問題対策⑳（テスト形式）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容		
科目番号	20		
授業科目	1級原価計算総合 I		
実務家教員授業	—		
学部・学科	ビジネス学科		
履修年次	1 年次		
開講学期	通年		
科目区分	選択		
授業方法	演習		
授業時間	9 0 時間（3 単位）		
授業コマ数	4 5 コマ		
授業概要	原価計算基準の理論体系、多様化する製造過程に対する会計処理、経営戦略について、より詳細に学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	簿記1級検定合格程度の原価計算知識および計算技術の習得を目的とする		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	工業簿記・原価計算総まとめ①	31 総合問題対策⑥（テスト形式）
	2	工業簿記・原価計算総まとめ②	32 総合問題対策⑦（テスト形式）
	3	工業簿記・原価計算総まとめ③	33 総合問題対策⑧（テスト形式）
	4	工業簿記・原価計算総まとめ④	34 総合問題対策⑨（テスト形式）
	5	工業簿記・原価計算総まとめ⑤	35 総合問題対策⑩（テスト形式）
	6	工業簿記・原価計算総まとめ⑥	36 総合問題対策⑪（テスト形式）
	7	工業簿記・原価計算総まとめ⑦	37 総合問題対策⑫（テスト形式）
	8	工業簿記・原価計算総まとめ⑧	38 総合問題対策⑬（テスト形式）
	9	工業簿記・原価計算総まとめ⑨	39 総合問題対策⑭（テスト形式）
	10	工業簿記・原価計算総まとめ⑩	40 総合問題対策⑮（テスト形式）
	11	工業簿記・原価計算総まとめ⑪	41 総合問題対策⑯（テスト形式）
	12	工業簿記・原価計算総まとめ⑫	42 総合問題対策⑰（テスト形式）
	13	工業簿記・原価計算総まとめ⑬	43 総合問題対策⑱（テスト形式）
	14	工業簿記・原価計算総まとめ⑭	44 総合問題対策⑲（テスト形式）
	15	工業簿記・原価計算総まとめ⑮	45 総合問題対策⑳（テスト形式）
	16	工業簿記・原価計算総まとめ⑯	
	17	工業簿記・原価計算総まとめ⑰	
	18	工業簿記・原価計算総まとめ⑱	
	19	工業簿記・原価計算総まとめ⑲	
	20	工業簿記・原価計算総まとめ⑳	
	21	工業簿記・原価計算総まとめ㉑	
	22	工業簿記・原価計算総まとめ㉒	
	23	工業簿記・原価計算総まとめ㉓	
	24	工業簿記・原価計算総まとめ㉔	
	25	工業簿記・原価計算総まとめ㉕	
	26	総合問題対策①（テスト形式）	
	27	総合問題対策②（テスト形式）	
	28	総合問題対策③（テスト形式）	
	29	総合問題対策④（テスト形式）	
	30	総合問題対策⑤（テスト形式）	
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験		
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	21	
授業科目	ビジネス教養 I	
実務家教員授業	—	
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義・演習	
授業時間	3 0 時間（1 単位）	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	企業内で多岐にわたり使用される電卓のスピード、正確性を高める実技演習を行う	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	電卓技能の向上を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	電卓の使い方、端数の取り扱い
	2	電卓演習①
	3	電卓演習②
	4	電卓演習③
	5	電卓演習④
	6	電卓演習⑤
	7	電卓演習⑥
	8	電卓演習⑦
	9	電卓演習⑧
	10	電卓演習⑨
	11	電卓演習⑩
	12	電卓演習⑪
	13	電卓演習⑫
	14	電卓演習⑬
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	22	
授業科目	Power Point基礎	
実務家教員授業	—	
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義・演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの基礎操作を理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と演習により、知識及びスキルの定着を図る	
達成目標	テキストを確認しながら操作力を身につけ、プレゼンテーションを実践する	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	プレゼンテーションの企画
	2	分かりやすいストーリー構成
	3	必要な情報の収集
	4	センスアップするレイアウトデザイン
	5	視覚に訴えるチャート化
	6	訴求力を上げるカラー化
	7	数値をアピールする表・グラフ活用
	8	イメージを伝えるイラスト・写真活用
	9	発表で魅せるアニメーション
	10	自信を高める万全な準備
	11	メッセージが伝わる発表スキル
	12	信頼を得る質疑応答
	13	プレゼンテーション準備
	14	効果測定①
	15	効果測定②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容		
科目番号	23		
授業科目	I T リテラシ		
実務家教員授業	—		
学部・学科	ビジネス学科		
履修年次	1年次		
開講学期	後期		
科目区分	必修		
授業方法	講義・演習		
授業時間	90時間（3単位）		
授業コマ数	45コマ		
授業概要	ネットワーク、セキュリティの知識とコンピュータの基本操作を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	社会人として必要な情報リテラシの基礎を身につける		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	コンピュータシステムの構成①	31 直前答案練習①
	2	コンピュータシステムの構成②	32 直前答案練習②
	3	コンピュータシステムの構成③	33 直前答案練習③
	4	ネットワークテクノロジー①	34 直前答案練習④
	5	ネットワークテクノロジー②	35 直前答案練習⑤
	6	ネットワークテクノロジー③	36 直前答案練習⑥
	7	ネットワークの構築と運用①	37 直前答案練習⑦
	8	ネットワークの構築と運用②	38 直前答案練習⑧
	9	ネットワークの構築と運用③	39 直前答案練習⑨
	10	ネットワークの構築と運用④	40 直前答案練習⑩
	11	情報セキュリティ①	41 直前答案練習⑪
	12	情報セキュリティ②	42 直前答案練習⑫
	13	情報セキュリティ③	43 直前答案練習⑬
	14	情報セキュリティ④	44 直前答案練習⑭
	15	情報セキュリティ⑤	45 直前答案練習⑮
	16	項目別問題演習①	
	17	項目別問題演習②	
	18	項目別問題演習③	
	19	項目別問題演習④	
	20	項目別問題演習⑤	
	21	項目別問題演習⑥	
	22	項目別問題演習⑦	
	23	項目別問題演習⑧	
	24	項目別問題演習⑨	
	25	項目別問題演習⑩	
	26	項目別問題演習⑪	
	27	項目別問題演習⑫	
	28	項目別問題演習⑬	
	29	項目別問題演習⑭	
	30	項目別問題演習⑮	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況		
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	24	
授業科目	キャリアデザインⅡ	
実務家教員授業	授業担当者：株式会社アウトソーシングテクノロジー	
	実務経験及び授業との関連性：企業において採用面接試験を担当する実務家教員が、その実務経験を活かして、就職活動に向けた筆記試験・面接対策などについて講義を行う。	
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義・演習	
授業時間	3 0 時間（1 単位）	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの学習	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの習得	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	自己分析①
	2	自己分析②
	3	企業研究①
	4	企業研究②
	5	電話応対トレーニング①
	6	電話応対トレーニング②
	7	電話応対トレーニング③
	8	電話応対トレーニング④
	9	電話応対トレーニング⑤
	10	電話応対トレーニング⑥
	11	電話応対トレーニング⑦
	12	電話応対トレーニング⑧
	13	電話応対トレーニング⑨
	14	電話応対トレーニング⑩
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	25	
授業科目	キャリアデザインⅢ	
実務家教員	授業担当者：株式会社アウトソーシングテクノロジー	
	実務経験及び授業との関連性：企業において採用面接試験を担当する実務家教員が、その実務経験を活かして、就職活動に向けた筆記試験・面接対策などについて講義を行う。	
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義・演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	グループワークの手法について基礎的な知識を身につける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	グループディスカッションとは①
	2	グループディスカッションとは②
	3	グループディスカッションの役割①
	4	グループディスカッションの役割②
	5	抽象テーマ型グループディスカッション①
	6	抽象テーマ型グループディスカッション②
	7	抽象テーマ型グループディスカッション③
	8	課題解決型グループディスカッション①
	9	課題解決型グループディスカッション②
	10	課題解決型グループディスカッション③
	11	KJ法①
	12	KJ法②
	13	資料読み取り型グループディスカッション①
	14	資料読み取り型グループディスカッション②
	15	資料読み取り型グループディスカッション③
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	26	
授業科目	時事	
実務家教員授業	—	
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	現代社会における主要な時事の基本用語を理解し、自分の考えや意見を持つための学習	
授業の進め方	テキスト講義により、興味を持って情報収集し自身の意見に反映させる	
達成目標	主要な時事の基本用語が理解し、時事に関する情報収集を行い、考えや意見を伝えることが出来る	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	時事用語確認①
	2	時事用語確認②
	3	時事用語確認③
	4	時事用語確認④
	5	時事用語確認⑤
	6	時事用語確認⑥
	7	時事用語確認⑦
	8	時事用語確認⑧
	9	時事用語確認⑨
	10	時事用語確認⑩
	11	時事用語確認⑪
	12	時事用語確認⑫
	13	時事用語確認⑬
	14	時事用語確認⑭
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	27	
授業科目	Excel基礎	
実務家教員授業	—	
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義・演習	
授業時間	6 0 時間（2 単位）	
授業コマ数	3 0 コマ	
授業概要	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用法を習得する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	MOS Excelレベルの操作を習得する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	ワークシートやブックの作成と管理①
	2	ワークシートやブックの作成と管理②
	3	セルやセル範囲のデータの管理①
	4	セルやセル範囲のデータの管理②
	5	テーブルの作成①
	6	テーブルの作成②
	7	テーブルの作成③
	8	関数を使用してのデータ集計①
	9	関数を使用してのデータ集計②
	10	関数を使用してのデータ集計③
	11	関数を使用しての条件付き計算④
	12	関数を使用しての条件付き計算⑤
	13	関数を使用しての条件付き計算⑥
	14	関数を使用した文字列の整形や変更①
	15	関数を使用した文字列の整形や変更②
	16	関数を使用した文字列の整形や変更③
	17	グラフの作成①
	18	グラフの作成②
	19	グラフの作成③
	20	グラフの書式設定①
	21	グラフの書式設定②
	22	グラフの書式設定③
	23	グラフの書式設定④
	24	グラフの書式設定⑤
	25	オブジェクトの挿入や書式設定①
	26	オブジェクトの挿入や書式設定②
	27	オブジェクトの挿入や書式設定③
	28	オブジェクトの挿入や書式設定④
	29	オブジェクトの挿入や書式設定⑤
	30	オブジェクトの挿入や書式設定⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容			
科目番号	28			
授業科目	簿記論入門Ⅰ			
実務家教員授業	—			
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	1 年次			
開講学期	通年			
科目区分	選択必修			
授業方法	講義			
授業時間	1 2 0 時間（4 単位）			
授業コマ数	6 0 コマ			
授業概要	論理的な思考を基に、文章問題を解答する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	ガイダンス・簿記の概要Ⅰ①	31	現金預金Ⅱ
	2	簿記の概要Ⅰ②・現金預金Ⅰ①	32	商品売買Ⅱ
	3	債権債務Ⅰ①	33	退職給付会計Ⅱ①
	4	商品売買Ⅰ①	34	退職給付会計Ⅱ②
	5	固定資産Ⅰ①	35	外貨建会計Ⅰ①
	6	ソフトウェアⅠ	36	外貨建会計Ⅰ②
	7	現金預金Ⅰ②	37	リース会計Ⅰ
	8	貸倒れⅠ	38	試用販売Ⅰ①
	9	給料等Ⅰ①	39	外貨建会計Ⅰ③
	10	給料等Ⅰ②・税金Ⅰ	40	資産除去債務Ⅰ①
	11	純資産Ⅰ①	41	外貨建会計Ⅰ④
	12	債権債務Ⅰ②	42	圧縮記帳Ⅰ
	13	退職給付会計Ⅰ	43	試用販売Ⅰ②
	14	社債Ⅰ①	44	本支店会計Ⅰ①
	15	第1回確認テスト	45	第3回確認テスト
	16	現金預金Ⅰ③	46	資産除去債務Ⅰ②・本支店会計Ⅰ②
	17	社債Ⅰ②・商品売買Ⅰ②	47	委託販売①
	18	商品売買Ⅰ③・有価証券Ⅰ①	48	受託販売Ⅰ①
	19	税効果会計Ⅰ	49	組織再編会計Ⅰ①
	20	現在価値計算Ⅰ	50	外貨建会計Ⅰ⑤
	21	社債Ⅰ③	51	連結会計Ⅰ①
	22	純資産Ⅰ②	52	連結会計Ⅰ②
	23	有価証券Ⅰ②	53	会計上の変更等Ⅰ
	24	商品売買Ⅰ④	54	貸倒れⅡ
	25	固定資産Ⅰ②	55	試用販売Ⅰ③・未着品販売Ⅰ
	26	純資産Ⅰ③・保険金Ⅰ	56	受託販売Ⅰ②・製造業会計Ⅰ
	27	債権債務Ⅰ③	57	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ
	28	減損会計Ⅰ	58	組織再編会計Ⅰ②
	29	新株予約権付社債Ⅰ	59	ソフトウェアⅡ
	30	第2回確認テスト	60	第4回確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容			
科目番号	29			
授業科目	簿記論基礎Ⅰ			
実務家教員授業	—			
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	1 年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択必修			
授業方法	講義			
授業時間	1 2 0 時間（4 単位）			
授業コマ数	6 0 コマ			
授業概要	論理的な思考を基に、文章問題を解答する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	有価証券Ⅱ・繰延資産Ⅰ	31	問題演習⑰
	2	商品売買Ⅲ①	32	会計上の変更等Ⅱ
	3	問題演習①	33	問題演習⑱
	4	固定資産Ⅱ	34	問題演習⑲
	5	連結会計Ⅱ	35	簿記の概要Ⅱ
	6	問題演習②	36	商品売買Ⅲ②
	7	リース会計Ⅲ①	37	問題演習⑳
	8	資産除去債務Ⅱ	38	問題演習㉑
	9	問題演習③	39	社債Ⅱ
	10	帳簿組織Ⅰ	40	問題演習㉒
	11	問題演習④	41	問題演習㉓
	12	キャッシュ・フロー計算書Ⅱ	42	リース会計Ⅲ②
	13	問題演習⑤	43	問題演習㉔
	14	減損会計Ⅱ	44	問題演習㉕
	15	問題演習⑥	45	ストック・オプションⅡ
	16	問題演習⑦	46	問題演習㉖
	17	建設業会計Ⅰ・ソフトウェアⅢ	47	問題演習㉗
	18	問題演習⑧	48	金利スワップⅠ
	19	問題演習⑨	49	問題演習㉘
	20	ストック・オプションⅠ	50	問題演習㉙
	21	問題演習⑩	51	連結会計Ⅲ
	22	問題演習⑪	52	問題演習㉚
	23	新株予約権付社債Ⅱ	53	問題演習㉛
	24	問題演習⑫	54	組織再編会計Ⅱ
	25	問題演習⑬	55	問題演習㉜
	26	伝票会計Ⅰ	56	問題演習㉝
	27	問題演習⑭	57	退職給付会計Ⅲ
	28	問題演習⑮	58	問題演習㉞
	29	本支店会計Ⅱ	59	問題演習㉟
	30	問題演習⑯	60	第5回確認テスト
	成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％ 科目習熟度を測定するテスト		
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容			
科目番号	30			
授業科目	財務諸表論入門Ⅰ			
実務家教員授業	—			
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	1 年次			
開講学期	通年			
科目区分	選択必修			
授業方法	講義			
授業時間	1 2 0 時間（4 単位）			
授業コマ数	6 0 コマ			
授業概要	論理的な思考を基に、文章問題を解答する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	ガイダンス・財務諸表作成の基礎①	31	税金Ⅰ①・株主資本Ⅰ②
	2	財務諸表作成の基礎②	32	現在価値計算・固定資産Ⅳ
	3	債権債務①	33	損益計算総論④・損益計算各論①
	4	財務諸表作成の基礎③	34	税金Ⅰ②・社債②
	5	現金及び預金①	35	問題演習①
	6	債権債務②	36	有価証券Ⅰ②
	7	棚卸資産Ⅰ	37	問題演習②
	8	貸倒れⅠ①	38	株主資本Ⅱ・株主資本等変動計算書
	9	理論ガイダンス	39	問題演習③
	10	財務諸表論の基礎概念①	40	財務諸表論の基礎概念②
	11	現金及び預金②	41	損益計算総論⑤
	12	貸倒れⅠ②	42	損益計算各論②
	13	給料等①	43	税効果会計Ⅰ
	14	一般原則①	44	問題演習④
	15	債権債務③	45	貸借対照表総論・資産総論1
	16	棚卸資産Ⅱ	46	問題演習⑤
	17	引当金	47	固定資産Ⅲ
	18	一般原則②	48	問題演習⑥
	19	固定資産Ⅰ①	49	有価証券Ⅱ
	20	株主資本Ⅰ①	50	問題演習⑦
	21	一般原則③	51	固定資産Ⅴ
	22	損益計算総論①	52	問題演習⑧
	23	固定資産Ⅰ②	53	貸倒れⅡ
	24	給料等②	54	問題演習⑨
	25	第1回確認テスト	55	棚卸資産
	26	損益計算総論②	56	問題演習⑩
	27	固定資産Ⅱ	57	財務諸表作成の基礎④
	28	社債①	58	固定資産Ⅰ③
	29	有価証券Ⅰ①	59	問題演習⑪
	30	損益計算総論③	60	第2回確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％ 科目習熟度を測定するテスト			
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	31	
授業科目	財務諸表論基礎Ⅰ	
実務家教員授業	—	
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択必修	
授業方法	講義	
授業時間	1 2 0 時間（4 単位）	
授業コマ数	6 0 コマ	
授業概要	論理的な思考を基に、文章問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 外貨建取引Ⅰ① 2 固定資産Ⅵ 3 繰延資産① 4 退職給付会計Ⅱ① 5 資産総論1① 6 固定資産① 7 外貨建取引Ⅱ① 8 外貨建取引Ⅲ① 9 繰延資産② 10 負債1① 11 税金Ⅱ① 12 棚卸資産Ⅲ① 13 固定資産Ⅶ 14 金融商品応用項目Ⅰ① 15 負債1② 16 退職給付会計Ⅱ② 17 棚卸資産Ⅲ② 18 財務諸表論の基礎概念2① 19 退職給付会計Ⅱ③ 20 会計上の変更等① 21 財務諸表論の基礎概念2② 22 損益計算論① 23 資産総論2① 24 棚卸資産Ⅲ③ 25 金融商品① 26 外貨建取引Ⅰ② 27 固定資産Ⅳ 28 繰延資産③ 29 退職給付会計Ⅱ④ 30 資産総論1②	31 固定資産② 32 外貨建取引Ⅱ② 33 外貨建取引Ⅲ② 34 繰延資産④・負債1③ 35 税金Ⅱ②・棚卸資産Ⅲ④ 36 問題演習① 37 固定資産Ⅶ 38 問題演習② 39 金融商品応用項目Ⅰ② 40 問題演習③ 41 負債1④ 42 問題演習④ 43 退職給付会計Ⅱ⑤ 44 問題演習⑤ 45 棚卸資産Ⅲ⑤ 46 問題演習⑥ 47 財務諸表論の基礎概念2③ 48 問題演習⑦ 49 退職給付会計Ⅱ⑥ 50 問題演習⑧ 51 会計上の変更等② 52 問題演習⑨ 53 財務諸表論の基礎概念2④ 54 損益計算論②・資産総論2② 55 問題演習⑩ 56 棚卸資産Ⅲ⑥ 57 問題演習⑪ 58 金融商品② 59 問題演習⑫ 60 第3回確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
科目番号	32
授業科目	簿記論入門速習Ⅰ
実務家教員授業	—
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	60時間（2単位）
授業コマ数	30コマ
授業概要	論理的な思考を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス・簿記の概要Ⅰ①・簿記の概要Ⅰ② 2 現金預金Ⅰ①・債権債務Ⅰ①・商品売買Ⅰ① 3 固定資産Ⅰ①・ソフトウェアⅠ・現金預金Ⅰ②・貸倒れⅠ 4 給料等Ⅰ①・給料等Ⅰ②・税金Ⅰ・純資産Ⅰ① 5 債権債務Ⅰ②・退職給付会計Ⅰ・社債Ⅰ① 6 第1回確認テスト 7 現金預金Ⅰ③・社債Ⅰ②・商品売買Ⅰ② 8 商品売買Ⅰ③・有価証券Ⅰ①・税効果会計Ⅰ 9 現在価値計算Ⅰ・社債Ⅰ③・純資産Ⅰ②・有価証券Ⅰ② 10 商品売買Ⅰ④・固定資産Ⅰ②・純資産Ⅰ③・保険金Ⅰ 11 債権債務Ⅰ③・減損会計Ⅰ・新株予約権付社債Ⅰ 12 第2回確認テスト 13 現金預金Ⅱ・商品売買Ⅱ・退職給付会計Ⅱ① 14 退職給付会計Ⅱ②・外貨建会計Ⅰ① 15 外貨建会計Ⅰ②・リース会計Ⅰ・試用販売Ⅰ① 16 外貨建会計Ⅰ③・資産除去債務Ⅰ①・外貨建会計Ⅰ④ 17 圧縮記帳Ⅰ・試用販売Ⅰ②・本支店会計Ⅰ① 18 第3回確認テスト 19 資産除去債務Ⅰ②・本支店会計Ⅰ② 20 委託販売①・受託販売Ⅰ① 21 組織再編会計Ⅰ①・外貨建会計Ⅰ⑤ 22 連結会計Ⅰ① 23 連結会計Ⅰ② 24 会計上の変更等Ⅰ・貸倒れⅡ 25 試用販売Ⅰ③・未着品販売Ⅰ 26 委託販売②・受託販売Ⅰ② 27 製造業会計Ⅰ 28 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ 29 組織再編会計Ⅰ②・ソフトウェアⅡ 30 第4回確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
科目番号	33
授業科目	簿記論基礎速習Ⅰ
実務家教員授業	—
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	6 0 時間（2 単位）
授業コマ数	3 0 コマ
授業概要	論理的な思考を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 有価証券Ⅱ・繰延資産Ⅰ 2 商品売買Ⅲ①・問題演習① 3 固定資産Ⅱ 4 連結会計Ⅱ・問題演習② 5 リース会計Ⅲ① 6 資産除去債務Ⅱ・問題演習③ 7 帳簿組織Ⅰ・問題演習④ 8 キャッシュ・フロー計算書Ⅱ 9 減損会計Ⅱ・問題演習⑤ 10 建設業会計Ⅰ・ソフトウェアⅢ 11 スtock・オプションⅠ 12 新株予約権付社債Ⅱ・伝票会計Ⅰ 13 本支店会計Ⅱ 14 会計上の変更等Ⅱ・問題演習⑥ 15 簿記の概要Ⅱ・商品売買Ⅲ② 16 問題演習⑦ 17 社債Ⅱ・問題演習⑧ 18 リース会計Ⅲ②・問題演習⑨ 19 スtock・オプションⅡ・問題演習⑩ 20 問題演習⑪ 21 問題演習⑫ 22 金利スワップⅠ 23 問題演習⑬ 24 連結会計Ⅲ 25 問題演習⑭ 26 組織再編会計Ⅱ 27 問題演習⑮ 28 退職給付会計Ⅲ 29 問題演習⑯ 30 第5回確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
科目番号	34
授業科目	財務諸表論入門速習Ⅰ
実務家教員授業	—
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	60時間（2単位）
授業コマ数	30コマ
授業概要	論理的な思考を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス・財務諸表作成の基礎① 2 財務諸表作成の基礎②・債権債務① 3 財務諸表作成の基礎③・現金及び預金① 4 債権債務②・棚卸資産Ⅰ 5 貸倒れⅠ① 6 理論ガイダンス・財務諸表論の基礎概念① 7 現金及び預金②・貸倒れⅠ② 8 給料等① 9 一般原則① 10 債権債務③・棚卸資産Ⅱ 11 引当金・一般原則② 12 固定資産Ⅰ①・株主資本Ⅰ① 13 一般原則③・損益計算総論① 14 固定資産Ⅰ②・給料等② 15 第1回確認テスト 16 損益計算総論②・固定資産Ⅱ 17 社債①・有価証券Ⅰ①・損益計算総論③ 18 税金Ⅰ①・株主資本Ⅰ② 19 現在価値計算・固定資産Ⅳ 20 損益計算総論④・損益計算各論① 21 税金Ⅰ②・社債②・有価証券Ⅰ② 22 株主資本Ⅱ・株主資本等変動計算書 23 財務諸表論の基礎概念② 24 損益計算総論⑤・損益計算各論② 25 税効果会計Ⅰ・貸借対照表総論・資産総論1 26 固定資産Ⅲ・有価証券Ⅱ 27 固定資産Ⅴ・貸倒れⅡ 28 棚卸資産 29 財務諸表作成の基礎④・固定資産Ⅰ③ 30 第2回確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
科目番号	35
授業科目	財務諸表論基礎速習Ⅰ
実務家教員授業	—
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	60時間（2単位）
授業コマ数	30コマ
授業概要	論理的な思考を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 外貨建取引Ⅰ①・固定資産Ⅵ 2 繰延資産①・退職給付会計Ⅱ① 3 資産総論1①・固定資産① 4 外貨建取引Ⅱ①・外貨建取引Ⅲ① 5 繰延資産②・負債1① 6 税金Ⅱ①・棚卸資産Ⅲ① 7 固定資産Ⅶ・金融商品応用項目Ⅰ① 8 負債1②・退職給付会計Ⅱ② 9 棚卸資産Ⅲ②・財務諸表論の基礎概念2① 10 退職給付会計Ⅱ③・会計上の変更等① 11 財務諸表論の基礎概念2②・損益計算論① 12 資産総論2①・棚卸資産Ⅲ③ 13 金融商品①・外貨建取引Ⅰ② 14 固定資産Ⅳ・繰延資産③ 15 退職給付会計Ⅱ④・資産総論1② 16 固定資産② 17 外貨建取引Ⅱ② 18 外貨建取引Ⅲ② 19 繰延資産④・負債1③ 20 税金Ⅱ②・棚卸資産Ⅲ④・固定資産Ⅶ 21 金融商品応用項目Ⅰ②・負債1④ 22 退職給付会計Ⅱ⑤・棚卸資産Ⅲ⑤ 23 財務諸表論の基礎概念2③ 24 退職給付会計Ⅱ⑥ 25 会計上の変更等② 26 財務諸表論の基礎概念2④ 27 損益計算論②・資産総論2② 28 棚卸資産Ⅲ⑥ 29 金融商品② 30 第3回確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	36	
授業科目	一般教養Ⅱ	
実務家教員授業	—	
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	3 0 時間（1 単位）	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識まで身につける	
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する	
達成目標	一般社会生活で使用される頻度の高い常用漢字の読み書きができる	
教科書	問題集・プリント	
特記		
授業計画	1	訓読み・送り仮名・熟語1
	2	訓読み・送り仮名・熟語2
	3	同音異義・異字同訓
	4	誤字訂正、類義語・反対語
	5	漢字の意味・使い方1
	6	漢字の意味・使い方2
	7	漢字の意味・使い方3
	8	ことわざ・故事成語・慣用句 1
	9	ことわざ・故事成語・慣用句 2
	10	特殊な漢字の読み書き1
	11	特殊な漢字の読み書き2
	12	項目別模擬試験1
	13	項目別模擬試験2
	14	直前模擬試験1
	15	直前模擬試験2
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
科目番号	37
授業科目	経理実務
実務家教員授業	授業担当：イデア総研税理士法人
	実務経験及び授業との関連性：税理士事務所において担当する実務家教員が、その実務経験を活かして経理実務について講義を行う。
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	選択必修
授業方法	演習
授業時間	60時間（2単位）
授業コマ数	30コマ
授業概要	経理実務で必要となる業務内容を体系的に学び、特に納税等で用いる帳票書類についての知識を習得するための講義
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	経理実務の年間業務スケジュールを理解し、特に所得税・住民税・社会保険料に関する基本的な理解ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 経理・総務の年間カリキュラム 2 小切手・手形の実務上のポイント 3 入出金伝票と現金出納帳 4 当座預金出納帳と手形記入帳 5 交際費、福利厚生費及び会議費用の区分 6 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理1 7 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理2 8 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理3 9 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理4 10 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理5 11 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理6 12 源泉所得税（給与）の徴収・納付事務1 13 源泉所得税（給与）の徴収・納付事務2 14 源泉所得税（給与）の徴収・納付事務3 15 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）1 16 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）2 17 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）3 18 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）1 19 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）2 20 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）3 21 個人住民税の徴収及び納付1 22 個人住民税の徴収及び納付2 23 印紙税の基礎知識 24 受取利息の会計処理 25 消費税法の概要1 26 消費税法の概要2 27 消費税の会計処理 28 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）1 29 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）2 30 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）3
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	38	
授業科目	給与計算実務	
実務家教員授業	授業担当：イデア総研税理士法人	
	実務経験及び授業との関連性：税理士事務所において担当する実務家教員が、その実務経験を活かして給与計算実務について講義を行う。	
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択必修	
授業方法	演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	所得税・住民税の基礎知識を体系的に理解し、特に年末調整事務を行うために必要な知識を習得する講義	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	所得税・住民税の納付税額を算定することができる 年末調整事務で必要となる所得税源泉徴収簿の記入ができる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	所得税の基礎知識1
	2	所得税の基礎知識2
	3	所得税の基礎知識3
	4	年末調整のしかた1
	5	年末調整のしかた2
	6	年末調整のしかた3
	7	法定調書の流れ1
	8	法定調書の流れ2
	9	法定調書の流れ3
	10	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出1
	11	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出2
	12	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出3
	13	労働保険の概要及び会計処理1
	14	労働保険の概要及び会計処理2
	15	労働保険の概要及び会計処理3
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	39	
授業科目	マーケティング概論	
実務家教員授業	—	
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択必修	
授業方法	演習	
授業時間	6 0 時間（2 単位）	
授業コマ数	3 0 コマ	
授業概要	マーケティングの必要性和目的を学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	マーケティングの知識を体系的に習得する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 顧客満足① 2 顧客満足② 3 マーケティングの必要性① 4 マーケティングの必要性② 5 情報収集と分析① 6 情報収集と分析② 7 流通チャネル① 8 流通チャネル② 9 プロモーション① 10 プロモーション② 11 財務知識① 12 財務知識② 13 事例研究① 14 事例研究② 15 確認テスト① 16 成功事例から学ぶマーケティング 17 成功事例から学ぶマーケティング 18 成功事例から学ぶマーケティング 19 成功事例から学ぶマーケティング 20 成功事例から学ぶマーケティング 21 成功事例から学ぶマーケティング 22 成功事例から学ぶマーケティング 23 成功事例から学ぶマーケティング 24 成功事例から学ぶマーケティング 25 成功事例から学ぶマーケティング 26 成功事例から学ぶマーケティング 27 成功事例から学ぶマーケティング 28 成功事例から学ぶマーケティング 29 成功事例から学ぶマーケティング 30 成功事例から学ぶマーケティング	
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	40	
授業科目	卒業研究・発表	
実務家教員授業	—	
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択必修	
授業方法	演習	
授業時間	60時間（2単位）	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	実店舗を題材にして、課題に対する改善案を提案し発表する	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	マーケティングの知識を活かし、現状に即した企画案を作成する	
教科書	オリジナルテキスト、外販テキスト	
特記		
授業計画	1 企画作成① 2 企画作成② 3 企画作成③ 4 企画作成④ 5 企画作成⑤ 6 中間発表① 7 中間発表② 8 企画のブラッシュアップ① 9 企画のブラッシュアップ② 10 企画のブラッシュアップ③ 11 企画のブラッシュアップ④ 12 企画のブラッシュアップ⑤ 13 企画のブラッシュアップ⑥ 14 企画のブラッシュアップ⑦ 15 企画のブラッシュアップ⑧ 16 オンラインプレゼン方法① 17 オンラインプレゼン方法② 18 オンラインプレゼン方法③ 19 企画のブラッシュアップ⑨ 20 企画のブラッシュアップ⑩ 21 企画のブラッシュアップ⑪ 22 企画のブラッシュアップ⑫ 23 企画のブラッシュアップ⑬ 24 企画のブラッシュアップ⑭ 25 企画のブラッシュアップ⑮ 26 企画のブラッシュアップ⑯ 27 企画発表（校内）① 28 企画発表（校内）② 29 企画発表（企業向け）① 30 企画発表（企業向け）②	
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容		
科目番号	41		
授業科目	ITパスポート基礎		
実務家教員授業	—		
学部・学科	ビジネス学科		
履修年次	2年次		
開講学期	通年		
科目区分	選択		
授業方法	講義		
授業時間	90時間（3単位）		
授業コマ数	45コマ		
授業概要	情報技術の基礎となる考え方・仕組み・専門用語を理解する		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	社会人として必要な情報技術の専門用語の習得を目的とする		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	企業活動①	31 ソフトウェア①
	2	企業活動②	32 ソフトウェア②
	3	法務①	33 ハードウェア
	4	法務②	34 ヒューマンインターフェース
	5	経営戦略マネジメント①	35 マルチメディア
	6	経営戦略マネジメント②	36 データベース①
	7	技術戦略マネジメント①	37 データベース②
	8	技術戦略マネジメント②	38 データベース③
	9	ビジネスインダストリ①	39 ネットワーク①
	10	ビジネスインダストリ②	40 ネットワーク②
	11	システム戦略①	41 ネットワーク③
	12	システム戦略②	42 セキュリティ①
	13	システム企画①	43 セキュリティ②
	14	システム企画②	44 セキュリティ③
	15	システム開発技術①	45 確認テスト
	16	システム開発技術②	
	17	ソフトウェア開発管理技術①	
	18	ソフトウェア開発管理技術②	
	19	プロジェクトマネジメント	
	20	サービスマネジメント①	
	21	サービスマネジメント②	
	22	システム監査①	
	23	システム監査②	
	24	基礎理論①	
	25	基礎理論②	
	26	アルゴリズムとプログラミング①	
	27	アルゴリズムとプログラミング②	
	28	コンピュータ構成要素①	
	29	コンピュータ構成要素②	
	30	システム構成要素	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況		
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	42	
授業科目	ITパスポート・リテラシ演習	
実務家教員授業	—	
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	3 0 時間（1 コマ）	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	情報技術の考え方・仕組み・専門用語を問題演習を通じて学ぶ	
授業の進め方	問題演習と復習演習を行い、知識定着を図る	
達成目標	基本的な情報技術知識の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ITリテラシ演習①
	2	ITリテラシ演習②
	3	ITリテラシ演習③
	4	ITリテラシ演習④
	5	ITリテラシ演習⑤
	6	ITリテラシ演習⑥
	7	ITリテラシ演習⑦
	8	ITパスポート演習①
	9	ITパスポート演習②
	10	ITパスポート演習③
	11	ITパスポート演習④
	12	ITパスポート演習⑤
	13	ITパスポート演習⑥
	14	ITパスポート演習⑦
	15	ITパスポート演習⑧
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	43	
授業科目	ITパスポート応用	
実務家教員授業	—	
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	6 0 時間（2 単位）	
授業コマ数	3 0 コマ	
授業概要	基礎レベルではやや難しい情報技術の考え方を問題を演習を通じて学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	ITパスポートレベルの情報技術知識の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ITパスポート総まとめ①
	2	ITパスポート総まとめ②
	3	ITパスポート総まとめ③
	4	ITパスポート総まとめ④
	5	ITパスポート総まとめ⑤
	6	ITパスポート総まとめ⑥
	7	ITパスポート総まとめ⑦
	8	ITパスポート総まとめ⑧
	9	ITパスポート総まとめ⑨
	10	ITパスポート総まとめ⑩
	11	ITパスポート総まとめ⑪
	12	ITパスポート総まとめ⑫
	13	ITパスポート総まとめ⑬
	14	ITパスポート総まとめ⑭
	15	ITパスポート総まとめ⑮
	16	ITパスポート総合問題対策①
	17	ITパスポート総合問題対策②
	18	ITパスポート総合問題対策③
	19	ITパスポート総合問題対策④
	20	ITパスポート総合問題対策⑤
	21	ITパスポート総合問題対策⑥
	22	ITパスポート総合問題対策⑦
	23	ITパスポート総合問題対策⑧
	24	ITパスポート総合問題対策⑨
	25	ITパスポート総合問題対策⑩
	26	ITパスポート総合問題対策⑪
	27	ITパスポート総合問題対策⑫
	28	ITパスポート総合問題対策⑬
	29	ITパスポート総合問題対策⑭
	30	ITパスポート総合問題対策⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容		
科目番号	44		
授業科目	販売知識基礎		
実務家教員授業	—		
学部・学科	ビジネス学科		
履修年次	2 年次		
開講学期	通年		
科目区分	選択		
授業方法	講義		
授業時間	9 0 時間（3 単位）		
授業コマ数	4 5 コマ		
授業概要	仕入れ在庫管理・接客マナー・企画立案、マネジメントの知識を理解する		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	モノやサービスが売れる仕組みについての知識を身につける		
教科書	外販テキスト		
特記			
授業計画	1	販売員の役割①	31 商業集積④
	2	販売員の役割②	32 商業集積⑤
	3	販売員の役割③	33 商業集積⑥
	4	販売員の法廷知識①	34 小売業のマーケティング①
	5	販売員の法廷知識②	35 小売業のマーケティング②
	6	販売員の法廷知識③	36 小売業のマーケティング③
	7	小売業の計数管理①	37 小売業のマーケティング④
	8	小売業の計数管理②	38 小売業のマーケティング⑤
	9	小売業の計数管理③	39 小売業のマーケティング⑥
	10	店舗管理①	40 顧客満足経営①
	11	店舗管理②	41 顧客満足経営②
	12	店舗管理③	42 顧客満足経営③
	13	店舗管理④	43 顧客満足経営④
	14	店舗管理⑤	44 顧客満足経営⑤
	15	店舗管理⑥	45 確認テスト
	16	流通における小売業①	
	17	流通における小売業②	
	18	流通における小売業③	
	19	流通における小売業④	
	20	流通における小売業⑤	
	21	流通における小売業⑥	
	22	組織形態別小売業①	
	23	組織形態別小売業②	
	24	組織形態別小売業③	
	25	店舗形態別小売業①	
	26	店舗形態別小売業②	
	27	店舗形態別小売業③	
	28	商業集積①	
	29	商業集積②	
	30	商業集積③	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況		
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容		
科目番号	45		
授業科目	販売知識応用		
実務家教員授業	—		
学部・学科	ビジネス学科		
履修年次	2 年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	演習		
授業時間	9 0 時間（3 単位）		
授業コマ数	4 5 コマ		
授業概要	小売業について体系的に学び、実務的なビジネスの知識を理解する		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	リテールマーケティング検定 3 級レベルの知識を理解し身につける		
教科書	外販テキスト		
特記			
授業計画	1	証券の設定と出店①	31 商品計画①
	2	証券の設定と出店②	32 商品計画②
	3	証券の設定と出店③	33 商品計画③
	4	リージョナルプロモーション①	34 販売計画及び仕入れ計画①
	5	リージョナルプロモーション②	35 販売計画及び仕入れ計画②
	6	リージョナルプロモーション③	36 販売計画及び仕入れ計画③
	7	顧客志向型売り場づくり①	37 価格設定①
	8	顧客志向型売り場づくり②	38 価格設定②
	9	顧客志向型売り場づくり③	39 価格設定③
	10	ストアオペレーション①	40 在庫管理①
	11	ストアオペレーション②	41 在庫管理②
	12	ストアオペレーション③	42 在庫管理③
	13	ストアオペレーション④	43 販売管理①
	14	ストアオペレーション⑤	44 販売管理②
	15	ストアオペレーション⑥	45 確認テスト
	16	梱包技術①	
	17	梱包技術②	
	18	梱包技術③	
	19	ディスプレイ①	
	20	ディスプレイ②	
	21	ディスプレイ③	
	22	商品①	
	23	商品②	
	24	商品③	
	25	マーチャンダイジング①	
	26	マーチャンダイジング②	
	27	マーチャンダイジング③	
	28	マーチャンダイジング④	
	29	マーチャンダイジング⑤	
	30	マーチャンダイジング⑥	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況		
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容			
科目番号	46			
授業科目	財務会計			
実務家教員授業	—			
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	2 年次			
開講学期	通年			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
授業時間	9 0 時間（3 単位）			
授業コマ数	4 5 コマ			
授業概要	財務諸表の作成に関する知識と技術を身につけ、財務会計の意義や制度についての理解を深めるための講義			
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る			
達成目標	財務会計の意義や制度を深く理解し、財務諸表の作成及び会計情報を提供・活用できる			
教科書	テキスト及び参考書			
特記				
授業計画	1	外貨建会計①	31	消費税法⑥
	2	外貨建会計②	32	消費税法⑦
	3	外貨建会計③	33	消費税法⑧
	4	外貨建会計④	34	消費税法⑨
	5	リース取引①	35	消費税法⑩
	6	リース取引②	36	法人税法①
	7	リース取引③	37	法人税法②
	8	リース取引④	38	法人税法③
	9	キャッシュ・フロー計算書①	39	法人税法④
	10	キャッシュ・フロー計算書②	40	法人税法⑤
	11	キャッシュ・フロー計算書③	41	法人税法⑥
	12	キャッシュ・フロー計算書④	42	法人税法⑦
	13	キャッシュ・フロー計算書⑤	43	法人税法⑧
	14	キャッシュ・フロー計算書⑥	44	法人税法⑨
	15	税効果会計①	45	法人税法⑩
	16	税効果会計②		
	17	税効果会計③		
	18	税効果会計④		
	19	税効果会計⑤		
	20	税効果会計⑥		
	21	退職給付会計①		
	22	退職給付会計②		
	23	退職給付会計③		
	24	退職給付会計④		
	25	退職給付会計⑤		
	26	消費税法①		
	27	消費税法②		
	28	消費税法③		
	29	消費税法④		
	30	消費税法⑤		
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容			
科目番号	47			
授業科目	FP基礎			
実務家教員授業	—			
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	2年次			
開講学期	通年			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
授業時間	120時間（4単位）			
授業コマ数	60コマ			
授業概要	日常生活に関わる様々な「お金」の知識を身につける			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	F P 3級の基礎知識を理解し、日常生活に関わる様々な「お金」の知識を身につけ、説明できるようになる。また、資産運用や管理、そのリスクについて簡単に説明できるようになる			
教科書	テキスト及び参考書			
特記				
授業計画	1	ライフプランニングと資金計画①	31	タックスプランニング①
	2	ライフプランニングと資金計画②	32	タックスプランニング②
	3	ライフプランニングと資金計画③	33	タックスプランニング③
	4	ライフプランニングと資金計画④	34	タックスプランニング④
	5	ライフプランニングと資金計画⑤	35	タックスプランニング⑤
	6	ライフプランニングと資金計画⑥	36	タックスプランニング⑥
	7	ライフプランニングと資金計画⑦	37	タックスプランニング⑦
	8	ライフプランニングと資金計画⑧	38	タックスプランニング⑧
	9	ライフプランニングと資金計画⑨	39	タックスプランニング⑨
	10	ライフプランニングと資金計画⑩	40	タックスプランニング⑩
	11	ライフプランニングと資金計画⑪	41	タックスプランニング⑪
	12	ライフプランニングと資金計画⑫	42	タックスプランニング⑫
	13	リスク管理①	43	不動産①
	14	リスク管理②	44	不動産②
	15	リスク管理③	45	不動産③
	16	リスク管理④	46	不動産④
	17	リスク管理⑤	47	不動産⑤
	18	リスク管理⑥	48	不動産⑥
	19	リスク管理⑦	49	不動産⑦
	20	リスク管理⑧	50	不動産⑧
	21	リスク管理⑨	51	不動産⑨
	22	金融資産運用①	52	相続・事業承継①
	23	金融資産運用②	53	相続・事業承継②
	24	金融資産運用③	54	相続・事業承継③
	25	金融資産運用④	55	相続・事業承継④
	26	金融資産運用⑤	56	相続・事業承継⑤
	27	金融資産運用⑥	57	相続・事業承継⑥
	28	金融資産運用⑦	58	相続・事業承継⑦
	29	金融資産運用⑧	59	相続・事業承継⑧
	30	金融資産運用⑨	60	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
科目番号	48
授業科目	FP応用
実務家教員授業	—
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	2 年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義・演習
授業時間	6 0 時間（2 単位）
授業コマ数	3 0 コマ
授業概要	日常生活に関わる様々なお金の知識を身につける
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、知識定着を図る
達成目標	問題演習により F P 3 級の基礎知識を定着させる
教科書	外販テキスト
特記	
授業計画	1 ライフプランニングと資金計画問題演習① 2 ライフプランニングと資金計画問題演習② 3 ライフプランニングと資金計画問題演習③ 4 ライフプランニングと資金計画問題演習④ 5 ライフプランニングと資金計画問題演習⑤ 6 ライフプランニングと資金計画問題演習⑥ 7 リスク管理問題演習① 8 リスク管理問題演習② 9 リスク管理問題演習③ 10 リスク管理問題演習④ 11 金融資産運用問題演習① 12 金融資産運用問題演習② 13 金融資産運用問題演習③ 14 金融資産運用問題演習④ 15 タックスプランニング問題演習① 16 タックスプランニング問題演習② 17 タックスプランニング問題演習③ 18 タックスプランニング問題演習④ 19 タックスプランニング問題演習⑤ 20 タックスプランニング問題演習⑥ 21 不動産問題演習① 22 不動産問題演習② 23 不動産問題演習③ 24 不動産問題演習④ 25 不動産問題演習⑤ 26 相続・事業承継問題演習① 27 相続・事業承継問題演習② 28 相続・事業承継問題演習③ 29 相続・事業承継問題演習④ 30 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	49	
授業科目	FP総合	
実務家教員授業	—	
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	9 0 時間（3 単位）	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	「お金」に関する総合的な知識を深め、経済社会との関係性を理解する	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	F P 3 級に合格できるレベルの知識を身につける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	ライフプランニングと資金計画①（応用編）
	2	ライフプランニングと資金計画②（応用編）
	3	ライフプランニングと資金計画③（応用編）
	4	リスク管理①（応用編）
	5	リスク管理②（応用編）
	6	金融資産運用①（応用編）
	7	金融資産運用②（応用編）
	8	タックスプランニング①（応用編）
	9	タックスプランニング②（応用編）
	10	タックスプランニング③（応用編）
	11	不動産①（応用編）
	12	不動産②（応用編）
	13	相続・事業承継①（応用編）
	14	相続・事業承継②（応用編）
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	50	
授業科目	Word基礎	
実務家教員授業	—	
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義・演習	
授業時間	3 0 時間（1 単位）	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身につける	
教科書	テキスト	
特記		
授業計画	1 文章の作成1 2 文章の作成2 3 文章内の移動1 4 文章内の移動2 5 文章の書式設定1 6 文章の書式設定2 7 文章の書式設定3 8 文章の書式設定4 9 オプションの設定、表示のカスタマイズ1 10 オプションの設定、表示のカスタマイズ2 11 オプションの設定、表示のカスタマイズ3 12 オプションの設定、表示のカスタマイズ4 13 文章の印刷、保存1 14 文章の印刷、保存2 15 文章の印刷、保存3 16 文章の印刷、保存4 17 文字列・段落の挿入1 18 文字列・段落の挿入2 19 文字列・段落の挿入3 20 文字列・段落の挿入4 21 文字列・段落の書式設定1 22 文字列・段落の書式設定2 23 文字列・段落の書式設定3 24 文字列・段落の書式設定4 25 文字列・段落の書式設定5 26 文字列・段落の並び替え、グループ化1 27 文字列・段落の並び替え、グループ化2 28 文字列・段落の並び替え、グループ化3 29 文字列・段落の並び替え、グループ化4 30 文字列・段落の並び替え、グループ化5	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	51	
授業科目	パソコン実習 I	
実務家教員授業	—	
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義・演習	
授業時間	3 0 時間（1 単位）	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	Word、Excelを操作するための基礎的な知識を身につける実習	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	基本的な入力操作や書式設定、画像や表の挿入、関数の使用方法を理解する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	文書の作成と管理1
	2	文書の作成と管理2
	3	文書の作成と管理3
	4	一般的なビジネス文書の作成1
	5	一般的なビジネス文書の作成2
	6	一般的なビジネス文書の作成3
	7	シンプルなレポートや報告書の作成1
	8	シンプルなレポートや報告書の作成2
	9	シンプルなレポートや報告書の作成3
	10	表、画像、図形を使った文書の作成（1）1
	11	表、画像、図形を使った文書の作成（1）2
	12	表、画像、図形を使った文書の作成（1）3
	13	表、画像、図形を使った文書の作成（1）4
	14	表、画像、図形を使った文書の作成（1）5
	15	表、画像、図形を使った文書の作成（1）6
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	52	
授業科目	コミュニケーション概論	
実務家教員授業	—	
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義・演習	
授業時間	3 0 時間（1 単位）	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	グループワークの手法について基礎的な知識を身に付ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	グループディスカッションとは①
	2	グループディスカッションとは②
	3	グループディスカッションの役割①
	4	グループディスカッションの役割②
	5	抽象テーマ型グループディスカッション①
	6	抽象テーマ型グループディスカッション②
	7	抽象テーマ型グループディスカッション③
	8	課題解決型（問題解決）グループディスカッション①
	9	課題解決型（問題解決）グループディスカッション②
	10	課題解決型（問題解決）グループディスカッション③
	11	KJ法①
	12	KJ法②
	13	資料読み取り型グループディスカッション①
	14	資料読み取り型グループディスカッション②
	15	資料読み取り型グループディスカッション③
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	53	
授業科目	パソコン実習Ⅱ	
実務家教員授業	—	
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義・演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	Word、Excelを操作し簡単な文書の作成、表やグラフを用いてレイアウトや見栄えの調節を行うためのスキルを身につける実習	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	タブやインデント、表やグラフを効果的に使用し見栄えの良い資料作成をすることができる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	文章の作成と管理1
	2	文章の作成と管理2
	3	文章の作成と管理3
	4	表作成の基本操作1
	5	表作成の基本操作2
	6	表作成の基本操作3
	7	表、画像、図形を使った文書の作成（2）1
	8	表、画像、図形を使った文書の作成（2）2
	9	表、画像、図形を使った文書の作成（2）3
	10	見やすく使いやすい表にする編集操作1
	11	見やすく使いやすい表にする編集操作2
	12	見やすく使いやすい表にする編集操作3
	13	見やすく使いやすい表にする編集操作4
	14	見やすく使いやすい表にする編集操作5
	15	見やすく使いやすい表にする編集操作6
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	54	
授業科目	パソコン実習Ⅲ	
実務家教員授業	—	
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	Word：長文を効率良く編集するためのスキルを習得する実習 Excel：目的に沿った編集を効率的に行うためのスキルを習得する実習	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	Word：段落やセクションを効果的に区切り、長文を効率良く編集できる Excel：複雑な関数や複数のシートを使ってのデータ集計や抽出を行い、目的に沿った編集ができる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 文書の作成と管理1 2 文書の作成と管理2 3 文書の作成と管理3 4 数式・関数を活用した集計表の作成1 5 数式・関数を活用した集計表の作成2 6 数式・関数を活用した集計表の作成3 7 ワークシート間の集計1 8 ワークシート間の集計2 9 ワークシート間の集計3 10 グラフの基本1 11 グラフの基本2 12 グラフの基本3 13 目的に応じたグラフの作成と編集1 14 目的に応じたグラフの作成と編集2 15 目的に応じたグラフの作成と編集3	
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	55	
授業科目	ビジネス教養Ⅱ	
実務家教員授業	—	
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	3 0 時間（1 単位）	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う	
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の問題を電卓にて計算する	
達成目標	電卓技能検定1・2級に合格する	
教科書	検定対策テキストおよび問題集	
特記		
授業計画	1	小数点以下の取り扱い諸注意
	2	電卓実践演習1
	3	電卓実践演習2
	4	電卓実践演習3
	5	電卓実践演習4
	6	電卓実践演習5
	7	電卓実践演習6
	8	電卓実践演習7
	9	電卓実践演習8
	10	電卓実践演習9
	11	電卓実践演習10
	12	電卓実践演習11
	13	電卓実践演習12
	14	電卓実践演習13
	15	電卓実践演習14
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
科目番号	56
授業科目	ビジネスマナー
実務家教員授業	—
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	2 年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義・演習
授業時間	6 0 時間（2 単位）
授業コマ数	3 0 コマ
授業概要	ビジネス電話対応や接客、接遇に関するルールを学習する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	企業内で必要とされる基本的なマナーを習得する
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	1 学校と職場の違い① 2 学校と職場の違い② 3 職場のマナー① 4 職場のマナー② 5 仕事の進め方① 6 仕事の進め方② 7 報告、連絡、相談① 8 報告、連絡、相談② 9 挨拶① 10 挨拶② 11 笑顔、お辞儀① 12 笑顔、お辞儀② 13 敬語① 14 敬語② 15 応対の基本① 16 応対の基本② 17 電話応対① 18 電話応対② 19 電話応対③ 20 効果測定① 21 効果測定② 22 効果測定③ 23 キャリア講演会① 24 キャリア講演会② 25 キャリア講演会③ 26 キャリア講演会④ 27 キャリア講演会⑤ 28 キャリア講演会⑥ 29 キャリア講演会⑦ 30 振り返り
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技・筆記による効果測定
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	57	
授業科目	英会話入門	
実務家教員授業	—	
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義・演習	
授業時間	3 0 時間（1 単位）	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	日常生活での簡単な英会話を事例をもとに学習する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	日常生活での簡単な英会話を習得する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	出会った時のあいさつ
	2	初対面の人と話す
	3	人を紹介する
	4	別れる時のあいさつ
	5	お礼を言う
	6	おわびをする
	7	依頼する
	8	許可を求める
	9	賛成・同意する
	10	反対・否定する
	11	聞き返す
	12	あいづちをうつ
	13	発話①
	14	発話②
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 筆記・実技による効果測定	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	58	
授業科目	卒業前特別講座	
実務家教員授業	—	
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	社会人として必要な考え方やスキルを学ぶ	
授業の進め方	様々な業界の方からの講演を聞く	
達成目標	講演、講座、研修を通じて、自身の将来の姿をイメージすることができる	
教科書	レジュメ	
特記		
授業計画	1	キャリア講演会①
	2	敬語講座①
	3	ビジネスマナー研修①
	4	キャリア講演会②
	5	キャリア講演会③
	6	敬語講座②
	7	ビジネスマナー研修②
	8	キャリア講演会④
	9	キャリア講演会⑤
	10	敬語講座③
	11	ビジネスマナー研修③
	12	キャリア講演会⑥
	13	キャリア講演会⑦
	14	敬語講座④
	15	振り返り
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	59	
授業科目	簿記論応用 I	
実務家教員授業	—	
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	6 0 時間（2 単位）	
授業コマ数	3 0 コマ	
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する	
授業の進め方	問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	第1回実力判定公開模擬試験
	2	問題演習①
	3	問題演習②
	4	問題演習③
	5	問題演習④
	6	問題演習⑤
	7	問題演習⑥
	8	問題演習⑦
	9	問題演習⑧
	10	第2回実力判定公開模擬試験
	11	問題演習⑨
	12	問題演習⑩
	13	問題演習⑪
	14	問題演習⑫
	15	問題演習⑬
	16	問題演習⑭
	17	問題演習⑮
	18	問題演習⑯
	19	問題演習⑰
	20	第3回実力判定公開模擬試験
	21	問題演習⑱
	22	問題演習⑲
	23	問題演習⑳
	24	問題演習㉑
	25	問題演習㉒
	26	問題演習㉓
	27	問題演習㉔
	28	問題演習㉕
	29	問題演習㉖
	30	第4回実力判定公開模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容			
科目番号	60			
授業科目	簿記論総合 I			
実務家教員授業	—			
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	2 年次			
開講学期	前期			
科目区分	選択			
授業方法	演習			
授業時間	1 8 0 時間（6 単位）			
授業コマ数	9 0 コマ			
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する			
授業の進め方	問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	収益認識 I	46	問題演習⑪
	2	過去試験問題集①	47	問題演習⑫
	3	過去試験問題集②	48	問題演習⑬
	4	過去試験問題集③	49	問題演習⑭
	5	過去試験問題集④	50	問題演習⑮
	6	過去試験問題集⑤	51	問題演習⑯
	7	過去試験問題集⑥	52	問題演習⑰
	8	過去試験問題集⑦	53	問題演習⑱
	9	過去試験問題集⑧	54	問題演習⑲
	10	過去試験問題集⑨	55	第3回直前対策模擬試験
	11	過去試験問題集⑩	56	問題演習⑳
	12	過去試験問題集⑪	57	問題演習㉑
	13	過去試験問題集⑫	58	問題演習㉒
	14	過去試験問題集⑬	59	問題演習㉓
	15	第1回直前対策模擬試験	60	問題演習㉔
	16	過去試験問題集⑭	61	問題演習㉕
	17	過去試験問題集⑮	62	問題演習㉖
	18	過去試験問題集⑯	63	問題演習㉗
	19	過去試験問題集⑰	64	問題演習㉘
	20	過去試験問題集⑱	65	ヤマ当て講義
	21	過去試験問題集⑲	66	問題演習㉙
	22	過去試験問題集㉑	67	問題演習㉚
	23	過去試験問題集㉒	68	問題演習㉛
	24	過去試験問題集㉓	69	問題演習㉜
	25	第1回プレ模擬試験	70	全国統一公開模擬模試

タイトル	内 容			
授業計画	26	過去試験問題集②③	71	問題演習③③
	27	過去試験問題集②④	72	問題演習③④
	28	過去試験問題集②⑤	73	問題演習③⑤
	29	過去試験問題集②⑥	74	問題演習③⑥
	30	過去試験問題集②⑦	75	問題演習③⑦
	31	過去試験問題集②⑧	76	問題演習③⑧
	32	過去試験問題集②⑨	77	問題演習③⑨
	33	過去試験問題集③⑩	78	問題演習④①
	34	問題演習①	79	問題演習④②
	35	第2回直前対策模擬試験	80	第1回直前予想公開模擬試験
	36	問題演習②	81	問題演習④③
	37	問題演習③	82	問題演習④④
	38	問題演習④	83	問題演習④⑤
	39	問題演習⑤	84	問題演習④⑥
	40	問題演習⑥	85	問題演習④⑦
	41	問題演習⑦	86	問題演習④⑧
	42	問題演習⑧	87	問題演習④⑨
	43	問題演習⑨	88	問題演習⑤①
	44	問題演習⑩	89	問題演習⑤②
	45	第2回プレ模擬試験	90	第2回直前予想公開模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	61	
授業科目	財務諸表論応用 I	
実務家教員授業	—	
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	6 0 時間（2 単位）	
授業コマ数	3 0 コマ	
授業概要	論理的な思考を基に、文章問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 製造業会計 2 金融商品 3 研究開発費・新株予約権・新株予約権付社債 4 財務諸表論の基礎概念2・資産総論2・金融商品・研究開発費等会計 5 外貨建取引Ⅱ・ストック・オプション 6 金融商品・外貨換算会計・キャッシュ・フロー計算書 7 固定資産Ⅵ 8 収益性の低下 9 キャッシュ・フロー計算書 10 リース会計・キャッシュ・フロー計算書 11 株主資本Ⅲ 12 負債2 13 第4回確認テスト 14 外貨建取引Ⅵ・組織再編会計Ⅰ 15 負債2・純資産会計 16 分配可能額・税効果会計Ⅱ 17 純資産会計・企業結合会計・事業分離会計 18 連結会計・固定資産Ⅷ 19 税効果会計 20 連結会計 21 会計上の変更等及び誤謬の訂正・連結財務諸表 22 税効果会計Ⅱ 23 連結会計 24 金融商品応用項目Ⅱ 25 連結財務諸表論 26 四半期財務諸表論 27 問題演習 28 スtock・オプション会計 29 企業結合会計・事業分離会計 30 第5回確認テスト	
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容			
科目番号	62			
授業科目	財務諸表論総合Ⅰ			
実務家教員授業	—			
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	2年次			
開講学期	前期			
科目区分	選択			
授業方法	演習			
授業時間	180時間（6単位）			
授業コマ数	90コマ			
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する			
授業の進め方	問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	第1回実力公開模擬試験	46	問題演習⑩
	2	税効果会計Ⅲ	47	第2回プレ模擬試験
	3	収益認識に関する会計基準	48	問題演習⑪
	4	過去試験問題集①	49	問題演習⑫
	5	第2回実力公開模擬試験	50	問題演習⑬
	6	過去試験問題集②	51	問題演習⑭
	7	過去試験問題集③	52	問題演習⑮
	8	実践問題対策①	53	第3回直前対策模擬試験
	9	第3回実力公開模擬試験	54	問題演習⑯
	10	過去試験問題集④	55	問題演習⑰
	11	財務諸表等規則に基づく財務諸表	56	問題演習⑱
	12	固定資産Ⅸ	57	問題演習⑲
	13	収益認識に関する会計基準	58	問題演習⑳
	14	過去試験問題集⑤	59	ヤマ当て講義
	15	第4回実力公開模擬試験	60	問題演習㉑
	16	過去試験問題集⑥	61	問題演習㉒
	17	組織再編会計Ⅱ（応用項目）	62	問題演習㉓
	18	会計上の変更等Ⅱ・収益認識	63	問題演習㉔
	19	実践問題対策②	64	問題演習㉕
	20	過去試験問題集⑦	65	問題演習㉖
	21	過去試験問題集⑧	66	問題演習㉗
	22	過去試験問題集⑨	67	問題演習㉘
	23	取得原価主義と棚卸資産の収益性の低下	68	問題演習㉙
	24	財務諸表の基礎概念	69	問題演習㉚
	25	過去試験問題集⑩	70	全国統一公開模擬試験

タイトル	内 容			
授業計画	26	収益認識	71	問題演習③①
	27	事業用資産の評価	72	問題演習③②
	28	過去試験問題集⑪	73	問題演習③③
	29	第1回直前対策模擬試験	74	問題演習③④
	30	過去試験問題集⑫	75	問題演習③⑤
	31	過去試験問題集⑬	76	問題演習③⑥
	32	過去試験問題集⑭	77	問題演習③⑦
	33	過去試験問題集⑮	78	問題演習③⑧
	34	過去試験問題集⑯	79	問題演習③⑨
	35	第1回プレ模擬試験	80	第1回直前予想公開模擬試験
	36	問題演習①	81	問題演習④①
	37	問題演習②	82	問題演習④②
	38	問題演習③	83	問題演習④③
	39	問題演習④	84	問題演習④④
	40	問題演習⑤	85	問題演習④⑤
	41	第2回直前対策模擬試験	86	問題演習④⑥
	42	問題演習⑥	87	問題演習④⑦
	43	問題演習⑦	88	問題演習④⑧
	44	問題演習⑧	89	問題演習④⑨
	45	問題演習⑨	90	第2回直前予想公開模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	63	
授業科目	簿記論入門Ⅱ	
実務家教員授業	—	
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	120時間（4単位）	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	論理的な思考を基に、文章問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 ガイダンス・簿記の概要Ⅰ① 2 簿記の概要Ⅰ②・現金預金Ⅰ① 3 債権債務Ⅰ①・商品売買Ⅰ① 4 固定資産Ⅰ①・ソフトウェアⅠ 5 問題演習① 6 現金預金Ⅰ② 7 貸倒れⅠ・給料等Ⅰ① 8 問題演習② 9 給料等Ⅰ②・税金Ⅰ 10 純資産Ⅰ① 11 問題演習③ 12 債権債務Ⅰ② 13 退職給付会計Ⅰ・社債Ⅰ① 14 問題演習④ 15 第1回確認テスト 16 現金預金Ⅰ③ 17 社債Ⅰ②・商品売買Ⅰ② 18 問題演習⑤ 19 商品売買Ⅰ③・有価証券Ⅰ① 20 問題演習⑥ 21 税効果会計Ⅰ 22 現在価値計算Ⅰ・社債Ⅰ③ 23 問題演習⑦ 24 純資産Ⅰ②・有価証券Ⅰ② 25 問題演習⑧ 26 商品売買Ⅰ④・固定資産Ⅰ② 27 純資産Ⅰ③・保険金Ⅰ 28 債権債務Ⅰ③・減損会計Ⅰ 29 新株予約権付社債Ⅰ 30 第2回確認テスト	31 現金預金Ⅱ 32 商品売買Ⅱ・退職給付会計Ⅱ① 33 問題演習⑨ 34 退職給付会計Ⅱ②・外貨建会計Ⅰ① 35 外貨建会計Ⅰ② 36 問題演習⑩ 37 リース会計Ⅰ・試用販売Ⅰ① 38 外貨建会計Ⅰ③ 39 問題演習⑪ 40 資産除去債務Ⅰ① 41 問題演習⑫ 42 外貨建会計Ⅰ④ 43 圧縮記帳Ⅰ・試用販売Ⅰ② 44 本支店会計Ⅰ 45 第3回確認テスト 46 資産除去債務Ⅰ②・本支店会計Ⅰ 47 委託販売①・受託販売Ⅰ① 48 問題演習⑬ 49 組織再編会計Ⅰ① 50 問題演習⑭ 51 外貨建会計Ⅰ⑤・連結会計Ⅰ① 52 連結会計Ⅰ② 53 問題演習⑮ 54 会計上の変更等Ⅰ・貸倒れⅡ 55 試用販売Ⅰ③・未着品販売Ⅰ 56 委託販売②・受託販売Ⅰ② 57 製造業会計Ⅰ 58 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ 59 組織再編会計Ⅰ②・ソフトウェアⅡ 60 第4回確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容			
科目番号	64			
授業科目	簿記論基礎Ⅱ			
実務家教員授業	—			
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	2 年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
授業時間	1 2 0 時間（4 単位）			
授業コマ数	6 0 コマ			
授業概要	論理的な思考を基に、文章問題を解答する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	有価証券Ⅱ・繰延資産Ⅰ	31	問題演習⑩
	2	商品売買Ⅲ	32	簿記の概要Ⅱ
	3	問題演習①	33	商品売買Ⅲ
	4	問題演習②	34	問題演習⑪
	5	固定資産Ⅱ	35	問題演習⑫
	6	連結会計Ⅱ	36	問題演習⑬
	7	問題演習③	37	社債Ⅱ
	8	問題演習④	38	問題演習⑭
	9	リース会計Ⅲ	39	問題演習⑮
	10	資産除去債務Ⅱ	40	問題演習⑯
	11	問題演習⑤	41	リース会計Ⅲ
	12	問題演習⑥	42	問題演習⑰
	13	帳簿組織Ⅰ	43	問題演習⑱
	14	問題演習⑦	44	問題演習⑲
	15	問題演習⑧	45	ストック・オプションⅡ
	16	キャッシュ・フロー計算書Ⅱ	46	問題演習⑳
	17	減損会計Ⅱ	47	問題演習㉑
	18	問題演習⑨	48	問題演習㉒
	19	問題演習⑩	49	金利スワップⅠ
	20	建設業会計Ⅰ・ソフトウェアⅢ	50	連結会計Ⅲ
	21	ストック・オプションⅠ	51	組織再編会計Ⅱ
	22	新株予約権付社債Ⅱ	52	問題演習㉓
	23	問題演習⑪	53	問題演習㉔
	24	問題演習⑫	54	問題演習㉕
	25	問題演習⑬	55	退職給付会計Ⅲ
	26	伝票会計Ⅰ	56	問題演習㉖
	27	本支店会計Ⅱ	57	問題演習㉗
	28	会計上の変更等Ⅱ	58	問題演習㉘
	29	問題演習⑭	59	問題演習㉙
	30	問題演習⑮	60	第5回確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容		
科目番号	65		
授業科目	財務諸表論入門Ⅱ		
実務家教員授業	—		
学部・学科	ビジネス学科		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	講義		
授業時間	1 2 0 時間（4 単位）		
授業コマ数	6 0 コマ		
授業概要	論理的な思考を基に、文章問題を解答する		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1 ガイダンス・財務諸表作成の基礎① 2 債権債務① 3 財務諸表作成の基礎② 4 現金及び預金・債権債務② 5 棚卸資産Ⅰ 6 ガイダンス・財務諸表論の基礎概念Ⅰ 7 貸倒れⅠ①・現金及び預金 8 一般原則① 9 貸倒れⅠ②・給料等 10 一般原則② 11 債権債務③・棚卸資産Ⅱ 12 一般原則③ 13 固定資産Ⅰ・株主資本Ⅰ① 14 一般原則④ 15 第1回確認テスト 16 税金Ⅰ①・社債①・有価証券Ⅰ① 17 損益計算論1① 18 固定資産Ⅱ・株主資本Ⅰ② 19 損益計算論1② 20 給料等・税金Ⅰ②・社債② 21 有価証券Ⅰ②・株主資本Ⅱ① 22 損益計算論1③ 23 税効果会計Ⅰ 24 損益計算論1④ 25 固定資産Ⅲ・株主資本Ⅱ② 26 資産総論1① 27 固定資産Ⅴ・貸倒れⅡ 28 資産総論1② 29 有価証券Ⅱ 30 第2回確認テスト	31 繰延資産・税金Ⅱ 32 有形固定資産の取得原価 33 退職給付会計Ⅱ①・棚卸資産Ⅲ① 34 資産総論1 35 棚卸資産Ⅲ② 36 負債1① 37 外貨建取引Ⅱ① 38 負債1② 39 外貨建取引Ⅱ② 40 退職給付会計Ⅱ② 41 損益計算論2 42 金融商品応用項目Ⅰ 43 会計上の変更等Ⅰ 44 金融商品 45 第3回確認テスト 46 製造業会計・研究開発費 47 資産総論2 48 外貨建取引Ⅲ 49 収益性の低下① 50 圧縮記帳 51 財務諸表論の基礎概念2 52 収益性の低下② 53 スtock・オプション会計 54 リース会計 55 負債2① 56 負債2② 57 キャッシュ・フロー計算書 58 負債2③ 59 純資産会計 60 第4回確認テスト	
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容			
科目番号	66			
授業科目	財務諸表論基礎Ⅱ			
実務家教員授業	—			
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	2 年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
授業時間	1 2 0 時間（4 単位）			
授業コマ数	6 0 コマ			
授業概要	論理的な思考を基に、文章問題を解答する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	外貨建取引Ⅳ	31	連結財務諸表②
	2	ストック・オプション会計	32	四半期財務諸表
	3	外貨換算会計	33	問題演習⑬
	4	問題演習①	34	問題演習⑭
	5	問題演習②	35	第5回確認テスト
	6	棚卸資産Ⅳ・分配可能額	36	税効果会計Ⅲ
	7	税効果会計	37	組織再編会計Ⅱ（応用項目）
	8	問題演習③	38	実践問題演習
	9	問題演習④	39	問題演習⑮
	10	連結会計①	40	問題演習⑯
	11	純資産会計・損益計算論3①	41	問題演習⑰
	12	問題演習⑤	42	問題演習⑱
	13	問題演習⑥	43	問題演習⑲
	14	連結会計②	44	財務諸表等規則に基づく財務諸表
	15	固定資産Ⅶ	45	純資産
	16	損益計算論3②	46	実践問題演習
	17	問題演習⑦	47	問題演習⑳
	18	問題演習⑧	48	問題演習㉑
	19	税効果会計Ⅱ	49	問題演習㉒
	20	企業結合会計	50	問題演習㉓
	21	事業分離会計	51	会計上の変更等Ⅱ
	22	問題演習⑨	52	収益認識
	23	問題演習⑩	53	実践問題集演習
	24	連結会計③	54	問題演習㉔
	25	固定資産Ⅸ	55	問題演習㉕
	26	連結財務諸表①	56	問題演習㉖
	27	問題演習⑪	57	問題演習㉗
	28	問題演習⑫	58	問題演習㉘
	29	金融商品応用項目Ⅱ	59	問題演習㉙
	30	会計上の変更及び誤謬の訂正	60	問題演習㉚
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	67	
授業科目	消費税法入門Ⅱ	
実務家教員授業	—	
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	120時間（4単位）	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	仕入れ税額控除や課税区分などの考え方を学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 ガイダンス 2 消費税法の概要 3 理論の暗記方法・価格の表示 4 課税の対象 5 国内取引の判定 6 非課税 7 課税の対象 8 非課税 9 輸出免税等・資産の譲渡等の時期 10 輸出免税等 11 輸出品販売場における免税 12 租税特別措置法における免税 13 控除対象仕入税額(その1) 14 売上に係る対価の返還等 15 貸倒れが生じた場合 16 売上に係る対価の返還等の消費税額 17 貸倒れに係る消費税額の控除及び加算 18 課税仕入れの範囲・時期 19 確定申告及び納付・還付 20 還付請求申告及び還付 21 課税売上割合・課税売上高 22 控除対象仕入税額(その2) 23 仕入れに係る消費税額の控除 24 仕入れに係る対価の返還等 25 仕入れに係る消費税額の控除の特例① 26 仕入れに係る消費税額の控除の特例② 27 第1回確認テスト 28 国境を越えた役務の提供 29 中間申告に係る納付税額の計算 30 課税売上割合(その2)	31 理論問題集① 32 課税の対象 33 国内取引の判定 34 理論問題集② 35 理論問題集③ 36 理論問題集④ 37 理論問題集⑤ 38 帳簿及び請求書等の保存要件 39 課税売上割合の計算方法 40 課税仕入れ等の分類 41 非課税資産の輸出 42 理論問題集⑥ 43 理論問題集⑦ 44 理論問題集⑧ 45 理論問題集⑨ 46 仕入れに係る消費税額の控除の特例③ 47 調整対象固定資産 48 仕入れに係る消費税額の控除の特例④ 49 仕入れに係る消費税額の控除の特例⑤ 50 理論問題集⑩ 51 理論問題集⑪ 52 理論問題集⑫ 53 理論問題集⑬ 54 納税義務の免除の特例① 55 納税義務の免除の特例② 56 納税義務の免除の特例③ 57 特定期間における納税義務の免除 58 相続があった場合の納税義務の免除 59 合併があった場合の納税義務の免除 60 第2回確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容		
科目番号	68		
授業科目	消費税法基礎Ⅱ		
実務家教員授業	—		
学部・学科	ビジネス学科		
履修年次	2 年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	講義		
授業時間	1 2 0 時間（4 単位）		
授業コマ数	6 0 コマ		
授業概要	納税義務や簡易課税制度などの考え方を学習する		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	会社分割の納税義務の免除の特例①	31 軽減税率
	2	会社分割の納税義務の免除の特例②	32 旧税率に関する経過措置
	3	会社分割の納税義務の免除の特例③	33 複数税率の場合の計算パターン
	4	新設法人の納税義務の免除の特例①	34 軽減対象資産の譲渡等に係る税率
	5	新設法人の納税義務の免除の特例②	35 帳簿及び請求書等の保存要件
	6	特定新規設立法人の納税義務の免除①	36 売上に係る対価の返還等の消費税額
	7	特定新規設立法人の納税義務の免除②	37 納税義務の免除が適用されない場合
	8	合併があった場合の中間納付	38 国等に対する特例
	9	棚卸資産に係る仕入れ税額控除①	39 国・地方公共団体等に対する特例
	10	中間申告及び納付	40 問題演習①
	11	棚卸資産に係る仕入れ税額控除②	41 リース譲渡に係る資産の譲渡等の特例
	12	特殊項目（その1）	42 工事の請負に係る資産の譲渡等の時期
	13	特殊項目（その2）	43 小規模事業者等に係る資産の譲渡等
	14	課税標準	44 納税地
	15	課税の対象	45 問題演習②
	16	課税標準及び税率	46 更生の請求
	17	簡易課税制度①	47 問題演習③
	18	簡易課税制度②	48 実質享受者課税等
	19	第3回確認テスト	49 法人課税信託の受託者に関する消費税
	20	課税事業者の選択	50 問題演習④
	21	新設法人の納税義務の免除の特例③	51 問題演習⑤
	22	特定新規設立法人の納税義務の免除③	52 問題演習⑥
	23	簡易課税制度③	53 問題演習⑦
	24	災害等があった場合の消費税額の控除	54 問題演習⑧
	25	特殊項目（その3）	55 問題演習⑨
	26	高額特定資産の納税義務の免除①	56 問題演習⑩
	27	高額特定資産の納税義務の免除②	57 問題演習⑪
	28	課税期間	58 問題演習⑫
	29	仕入れに係る消費税額の調整	59 問題演習⑬
	30	簡易課税制度④	60 問題演習⑭
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容			
科目番号	69			
授業科目	法人税法入門Ⅱ			
実務家教員授業	—			
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	2 年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
授業時間	1 2 0 時間（4 単位）			
授業コマ数	6 0 コマ			
授業概要	法人税法の計算体系、仕組みの理解を目的とする			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	各項目の基礎的な部分を学び、各体系の解法を習得する			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	ガイダンス・納税義務者と課税所得	31	国庫補助金・別表五(一)Ⅰの作成
	2	会社会計と税務計算	32	利益積立金額
	3	納税義務者・課税所得等の範囲・税率	33	圧縮記帳の概要Ⅰ
	4	各事業年度の所得の金額計算方法	34	収用等Ⅱ・欠損金Ⅱ
	5	交際費等の損金不算入Ⅰ	35	欠損金の繰戻し還付
	6	減価償却Ⅰ	36	役員判定・役員給与Ⅰ
	7	減価償却Ⅱ	37	同族会社の意義・役員の意義
	8	受取配当金の益金不算入Ⅰ	38	役員判定・役員給与Ⅱ
	9	減価償却資産の償却計算と償却方法	39	役員給与の損金不算入
	10	寄付金の損金不算入Ⅰ	40	使用人給与の損金不算入
	11	有価証券Ⅰ	41	特定資産の買換え
	12	有価証券の意義及び取得価額	42	交際費等の損金不算入Ⅲ・Ⅳ
	13	租税公課及び納税充当金Ⅰ	43	特別償却準備金
	14	租税公課及び納税充当金Ⅱ	44	保険差益・棚卸資産の評価・意義
	15	事業年度	45	第3回確認テスト
	16	減価償却Ⅲ・確定申告	46	外国税額控除
	17	第1回確認テスト	47	外国子会社から受ける配当等
	18	貸倒損失・収益の額	48	みなし配当金Ⅰ
	19	貸倒引当金Ⅰ	49	配当等の額とみなす金額
	20	減価償却Ⅳ	50	資本等取引Ⅰ、Ⅱ
	21	欠損金Ⅰ	51	資本金等の額
	22	受取配当金の益金不算入Ⅱ	52	交換差益
	23	収容等Ⅰ・貸倒引当金Ⅱ	53	別表五(二)の作成
	24	収容換地等の所得の特別控除	54	リース取引
	25	減価償却Ⅴ・有価証券Ⅱ	55	寄付金の損益不算入
	26	少額の減価償却資産	56	交際等の課税の特例
	27	交際費等の損金不算入Ⅱ	57	繰延資産
	28	寄付金の損金不算入Ⅱ	58	繰延資産の意義及び償却計算
	29	納税地	59	寄付金に該当しないもの
	30	第2回確認テスト	60	第4回確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容			
科目番号	70			
授業科目	法人税法基礎Ⅱ			
実務家教員授業	—			
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	2年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
授業時間	120時間（4単位）			
授業コマ数	60コマ			
授業概要	法人税法の計算体系、仕組みの理解を目的とする			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	各項目の基礎的な部分を学び、各体系の解法を習得する			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	ガイダンス・確定決算型	31	配当等の額とみなす金額
	2	租税公課等及び納税充当金Ⅳ	32	受取配当等の益金不算入Ⅳ
	3	控除対象外消費税額等の取扱い	33	寄付金の損金不算入Ⅳ
	4	グループ法人税制Ⅰ	34	移転価格税制
	5	寄付金の損金不算入	35	修正申告
	6	完全支配関係がある法人間の損益調整	36	中間申告
	7	資産の評価損益	37	更生の請求及び修正申告
	8	欠損金Ⅲ	38	税効果会計
	9	欠損金の繰越し	39	外貨建取引の換算
	10	グループ法人税制Ⅱ	40	第6回確認テスト
	11	交際費等の課税の特例	41	人材確保促進税制
	12	貸倒引当金	42	過少資本税制
	13	グループ法人税制Ⅲ	43	組合事業等による損失がある場合
	14	収益の額	44	組織再編税制（スピノフ税制）
	15	受取配当等の益金不算入	45	過大支払利子税制
	16	収用等Ⅲ	46	株式分配があった場合の主な取扱い
	17	保険料（生命保険）	47	適格組織再編があった場合の欠損金等
	18	収用換地等の所得の特別控除	48	特定同族会社の特別税率
	19	設立事業年度	49	留保金課税
	20	第5回確認テスト	50	適用除外事業者
	21	組織再編税制（概要）	51	納税義務者・課税所得等の範囲・税率
	22	組織再編税制（合併）①	52	地方法人税額
	23	合併があった場合の主な取扱い	53	欠損等法人の取扱い
	24	組織再編税制（合併）②	54	租税公課等及び納税充当金Ⅴ
	25	資産等に係る調整勘定の取扱い	55	有価証券Ⅳ
	26	組織再編税制（分割型分割・現物出資）	56	借地権等の取扱い
	27	分割型分割があった場合の主な取扱い	57	外国子会社から受ける配当等
	28	分社型分割があった場合の主な取扱い	58	不正行為に係る費用の取扱い
	29	みなし配当Ⅱ	59	問題演習
	30	帰属事業年度の特例	60	第7回確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容			
科目番号	71			
授業科目	所得税法入門Ⅱ			
実務家教員授業	—			
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	2年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
授業時間	120時間（4単位）			
授業コマ数	60コマ			
授業概要	所得税法の計算体系、仕組みの理解を目的とする			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	各項目の基礎的な部分を学び、各体系の解法を習得する			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	ガイダンス・所得税法の概要	31	所得控除の概要・雑損控除
	2	各種所得の意義及び金額計算	32	資産について生じた損失の取り扱い
	3	納付税額の計算・源泉徴収制度	33	医療費控除・社会保険料控除
	4	給与所得の源泉徴収	34	所得控除(物的控除)
	5	業務と事業・青色申告制度	35	障害者控除・寡婦控除・ひとり親控除
	6	青色申告特別控除	36	勤労学生控除・配偶者控除
	7	減価償却①・不動産取得	37	扶養控除・課税所得
	8	所得金額の計算の通則	38	取得費・みなし譲渡①
	9	減価償却②・一時所得	39	取得費(有価証券の取得費を除く)
	10	資産の無償又は低額による移転	40	山林所得・みなし譲渡②
	11	減価償却③・雑所得	41	債権が回収不能となった場合の取扱い
	12	年金についての課税関係	42	居住用財産の譲渡①
	13	退職所得	43	買換えの場合の課税の特例
	14	第1回確認テスト	44	居住用財産の譲渡②
	15	減価償却④・事業所得・損益通算	45	第3回確認テスト
	16	個人の納税義務者と課税所得の範囲	46	居住用財産の買換え・配当所得①
	17	少額減価償却資産等・売上原価	47	特定居住用財産の譲渡損失
	18	収入金額の評価の別段の定め	48	配当所得②
	19	必要経費①	49	利子所得、配当所得の課税関係
	20	家事関連費等の取り扱い	50	負債の利子・配当控除
	21	貸倒損失	51	有価証券の譲渡による所得の課税関係
	22	資産について生じた損失の取り扱い	52	株式等を取得するために要した負債
	23	貸倒引当金	53	配当所得③・特定口座制度①
	24	応用理論ガイダンス①・②	54	特定口座制度及び特定管理口座制度
	25	必要経費②	55	上場株式等に係る譲渡損益
	26	特定支出の控除の特例	56	特定口座制度②
	27	不動産所得に係る損益通算の特例	57	特定口座制度③
	28	損益通算	58	特定口座制度④
	29	純損失の繰越控除	59	第4回確認テスト
	30	第2回確認テスト	60	第5回確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容			
科目番号	72			
授業科目	所得税法基礎Ⅱ			
実務家教員授業	—			
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	2年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
授業時間	120時間（4単位）			
授業コマ数	60コマ			
授業概要	所得税法の計算体系、仕組みの理解を目的とする			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	各項目の基礎的な部分を学び、各体系の解法を習得する			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	給与所得者の経済的利益	31	エンジェル税制
	2	先物取引に係る所得の課税関係	32	特定中小会社が発行した株式の特例
	3	国外公社債等の利子等の源泉徴収	33	損益通算
	4	外国税額控除	34	消費税等・概算経費控除
	5	短期退職手当等である場合の退職所得	35	非課税口座制度
	6	退職所得の源泉徴収	36	修正申告
	7	勤務年数の計算①	37	平均課税制度
	8	退職所得控除額の特例	38	更生の請求
	9	勤務年数の計算②	39	長期譲渡所得の特別控除
	10	予定納税制度	40	第7回確認テスト
	11	債権が回収不能となった場合の取扱い	41	ストック・オプション税制
	12	措置法の特別控除	42	収入及び費用の帰属時期の特例
	13	取用交換の特別控除	43	収入金額の評価の別段の定め
	14	予定納税制度の減額承認申請	44	相続税額の取得費加算
	15	退職手当等とみなす一時金	45	取得費（有価証券の取得費を除く）
	16	源泉分離課税される一時所得	46	法定調書
	17	各種所得の意義及び金額	47	資産損失
	18	納税地	48	固定資産の交換
	19	確定申告	49	延納
	20	第6回確認テスト	50	公社債・みなし配当
	21	借地権の設定に伴い取得した権利金	51	みなし配当
	22	保険金、損害賠償金等の取扱い	52	各種所得の意義及び及び金額
	23	国庫補助金・借地権の課税関係	53	空き家に係る譲渡所得の特別控除
	24	年金についての課税関係	54	転任後の再居住年以後の特例
	25	収入計上時期	55	認定住宅の新築等に係る税額控除
	26	死亡又は出国の場合の確定申告	56	家内労働者等の所得計算の特例
	27	帳簿書類の備付け	57	所得金額調整控除
	28	借地権の更新料を支払った場合	58	相続人の所得金額の計算
	29	繰延資産	59	青色申告者の特典
	30	純損失の繰戻しによる還付	60	第8回確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	73	
授業科目	相続税法入門Ⅱ	
実務家教員授業	—	
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	1 2 0 時間（4 単位）	
授業コマ数	6 0 コマ	
授業概要	相続税法の計算体系、仕組みの理解を目的とする	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	各項目の基礎的な部分を学び、各体系の解法を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 ガイダンス・相続税の概要・相続人 2 相続税と民法・代襲相続 3 相続分・遺言による財産の取得 4 相続税の納税義務者と課税財産の範囲 5 退職手当金等・贈与税の概要 6 贈与税の納税義務者と課税財産の範囲 7 債務控除 8 相続時精算課税制度 9 相続時精算課税適用財産 10 相続税の期限内申告 11 贈与税額控除 12 相続税額の加算の制度 13 未成年者控除 14 障害者控除 15 第1回確認テスト 16 特定納税義務者・評価の原則 17 相続税の債務控除 18 特別養子制度・自用地 19 贈与税の期限内申告 20 普通借地権・一般動産 21 未分割遺産に対する相続税の取り扱い 22 預貯金・上場株式 23 相続税法の納税地 24 小規模宅地等の特例 25 小規模宅地等についての課税価格 26 構築物・受取手形等 27 更生の請求 28 間口が狭小な宅地等 29 特例対象宅地等の用語の意義 30 第2回確認テスト	31 相当の地代を受け取っている貸宅地 32 物納の要件 33 取引相場のない株式① 34 配偶者の相続税額の軽減 35 取引相場のない株式② 36 農地等の贈与税の納税猶予及び免除 37 利付公社債・割引発行の公社債 38 農地等の相続税の納税猶予及び免除 39 不整形地・地積規模の大きな宅地 40 非上場株式等の贈与税の納税猶予 41 かけ地等を有する宅地 42 非上場株式等の贈与税の免除の特例 43 邦貨換算・取引相場のない株式 44 自然人以外のものの納税義務 45 第3回確認テスト 46 私道の用に供されている宅地 47 相続税の債務控除 48 宅地等の評価単位 49 特定非常災害に関する特例 50 贈与税及び相続税が課税される場合 51 信託に関する権利 52 市街地周辺農地・市街地山林 53 贈与税の非課税財産 54 証券投資信託受益証券 55 修正申告 56 措法70の非課税 57 国等に相続財産を贈与した場合 58 保険金評価・生前贈与加算 59 贈与税の配偶者控除 60 第4回確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	74	
授業科目	相続税法基礎Ⅱ	
実務家教員授業	—	
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	120時間（4単位）	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	相続税法の計算体系、仕組みの理解を目的とする	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	各項目の基礎的な部分を学び、各体系の解法を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 ガイダンス・相続税法の概要 2 民法・評価の原則 3 相続税及び贈与税の納税義務者 4 生命保険金等の非課税金額 5 貸家建付地 6 相続又は遺贈により取得したもの 7 相続時精算課税適用財産 8 一般動産・上場株式 9 相続の債務控除 10 特別養子制度・生前贈与加算 11 預貯金 12 相続税額の加算の制度 13 未成年者控除・障害者控除① 14 取引相場のない株式① 15 未成年者控除・障害者控除② 16 措法70の非課税 17 取引相場のない株式② 18 国等に相続財産を贈与した場合 19 相次相続控除① 20 相次相続控除② 21 第1回確認テスト 22 贈与税の非課税財産 23 構築物・小規模住宅等の特例 24 小規模宅地等についての相続税 25 邦貨換算・建設中の家屋 26 相続税の期限内申告 27 相当の地代を受け取っている貸宅地 28 相当の地代を支払っている借地権 29 還付を受けるための申告及び還付 30 期限後申告	31 修正申告 32 更生の請求 33 宅地等の評価単位 34 容積率の異なる宅地 35 特定非常災害に関する特例 36 贈与税の配偶者控除 37 利付公社債・割引発行の公社債 38 第2回確認テスト 39 ゴルフ会員権 40 上場株式・株式に関する権利 41 特定計画山林についての相続税 42 未分割遺産に対する相続税 43 無道路地 44 立木・立木の評価減 45 取引相場のない株式③ 46 相続税法に定める財産評価 47 私道の用に供されている宅地 48 定期借地権等 49 延納・物納の要件等 50 小規模宅地等の特例 51 土砂災害特別警戒区域内にある宅地 52 市街地周辺農地 53 農地等の贈与税 54 本来の財産 55 相続時精算課税適用者の特例 56 保険金の評価 57 取引相場のない株式(5%基準) 58 医療法人の持分に係る経済的利益 59 医療法人の持分の相続税 60 第3回確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
科目番号	75
授業科目	国税徴収法基礎Ⅱ
実務家教員授業	—
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	2 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	6 0 時間（2 単位）
授業コマ数	3 0 コマ
授業概要	国税徴収法の体系、仕組みの理解を目的とする
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	各項目の基礎的な部分を学び、各体系の解法を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス・国税徴収法・民法の概要 2 滞納処分の概要・原則・共益費用・租税間 3 国税相互間における優先関係・差押えの通則など 4 滞納処分のための財産の調査 5 最優先される担保権・法定納期限等以前にある担保権 6 国税と被担保債権の優先関係 7 譲受前にある担保権・国税徴収法第22条 8 差押えの制限・差押禁止財産 9 担保権付財産が譲渡された場合の国税の徴収 10 差押えの共通手続 11 各種財産の差押え（動産又は有価証券） 12 国税徴収法第26条・各種財産の差押え 13 国税及び地方税等と私債権との競合の調整 14 債権の差押え・不動産等の差押え 15 第1回確認テスト・各種財産の差押え 16 第三債務者等がない無体財産権等の差押え 17 国税徴収法第24条・交換要求・参加差押え 18 譲渡担保権者の物納納税責任 19 交換要求・滞納処分のための財産の調査 20 譲渡担保財産から徴収する国税等の調整 21 国税徴収法第24条と第16条・法定納期限 22 財産の換価の通則・公売及び随意契約による売却 23 国税徴収法第23条・納期限未到来の納税の猶予 24 担保のための仮登記と国税の関係・納期限未到来の納税の猶予 25 担保を徴した国税・差押えの通則など 26 差押えの効力（果実・保険金）・確定手続が遅延した場合の納税の猶予 27 納税の猶予の申請手続等・換価の猶予 28 繰上差押え・保全差押え 29 繰上請求 30 第2回確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	